

株式会社メイテック 2017年3月期 決算説明会

2017年5月11日

代表取締役社長 グループCEO
國分 秀世

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 1. 2017年3月期 業績**
- 2. 新・中期経営計画〔3ヶ年〕**
- 3. 2018年3月期 業績予想**
- 4. ご参考資料**

- では、
 1. 2017年3月期業績、
 2. 新・中期経営計画、
 3. 2018年3月期業績予想、を説明させていただきます。
 4. ご参考資料は、のちほどご覧ください。

1. 2017年3月期 業績

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- まず、2017年3月期の業績を説明します。

2017年3月期業績 グループ連結

- ✓ 前期比で、売上高は2.4%増収、営業利益は2.5%増益
- ✓ 売上高は子会社売却により予想を下回ったが、営業利益は予想を上回った
- ✓ 当期純利益は、前期の約10億円の特別利益が消失しても前期比で微減

(百万円未満切捨て)	'16年3月期 実績	'17年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'17年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	87,888	89,979	+2,090	+2.4%	90,800	▲820
売上原価	64,661	66,417	+1,755	+2.7%	67,100	▲682
原価率	73.6%	73.8%	+0.2%			
販売管理費	12,352	12,418	+66	+0.5%	13,000	▲581
営業利益	10,874	11,142	+268	+2.5%	10,700	+442
営業利益率	12.4%	12.4%	—		11.8%	+0.6%
経常利益	10,845	11,145	+299	+2.8%	10,700	+445
特別損益	1,019	△14	▲1,034			
税金等調整前当期純利益	11,865	11,131	▲734	▲6.2%		
親会社株主に帰属する当期純利益	8,083	7,937	▲146	▲1.8%	7,600	+337
当期純利益率	9.2%	8.8%	▲0.4%			
自己資本当期純利益率(ROE)	21.5%	21.1%	▲0.4%			
総資産経常利益率(ROA)	16.7%	17.0%	+0.3%			

7

- グループ連結の業績です。
- 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、売上高は前期比2.4%増収の、過去最高の899億79百万円、営業利益は2.5%増益の111億42百万円となりました。
- なお、2016年12月26日付で子会社のアポロ技研株式会社を売却したため、売上高は業績予想を下回りましたが、営業利益は販管費の減少により業績予想を上回りました。
- 当期純利益は前期の約10億円の特別利益が無くなっても、前期比1.8%の微減にとどまり、79億37百万円となりました。

2017年3月期 グループ・セグメント

- ✓ 引き続き、派遣事業が業績をけん引⇒前期比で売上高は3.4%増収
- ✓ 2018年3月期からグループ・セグメントを変更

(百万円未満切捨て)	'16年3月期 実績	'17年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
派遣事業 売上高	84,614	87,518	+2,904	+3.4%
構成比	96.3%	97.3%	+1.0%	
営業利益	10,341	10,661	+319	+3.1%
紹介事業 売上高	1,499	1,641	+141	+9.5%
構成比	1.7%	1.8%	+0.1%	
営業利益	467	528	+61	+13.1%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	2,005	985	▲1,019	▲50.9%
構成比	2.3%	1.1%	▲1.2%	
営業利益	69	△47	▲116	—

8

- グループ・セグメントの業績です。
- 連結の売上高が前期比2.4%の増収に対し、メイテックが中核の派遣事業は前期比3.4%の増収、エンジニアに特化した紹介事業の売上高は前期比9.5%の増収でした。
- 一方、エンジニアリングソリューション事業は、子会社のアポロ技研を期中で売却したことにより、前期比で大幅な減収となりました。
- ただし、グループ全体では増収、営業利益も増益を確保しました。
- なお、2018年3月期よりセグメント名称を変更しますが、詳細は、のちほど説明します。

2017年3月期業績 メイテック

- ✓ 売上高は前期比1.7%増収で700億円超え（過去最高）
- ✓ 新卒エンジニアの配属業務厳選や業務ローテーションを推し進めたため、稼働率は前期比▲0.5%

(百万円未満切捨て)	'16年3月期 実績	'17年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'17年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	68,878	70,083	+1,204	+1.7%	70,200	▲116
売上原価	50,884	52,013	+1,129	+2.2%	52,200	▲186
原価率	73.9%	74.2%	+0.3%		74.4%	▲0.2%
販売管理費	8,932	8,856	▲76	▲0.9%	9,200	▲343
営業利益	9,061	9,213	+151	+1.7%	8,800	+413
営業利益率	13.2%	13.1%	▲0.1%		12.5%	+0.6%
経常利益	9,526	9,798	+272	+2.9%	9,300	+498
特別損益	1,037	△ 21	▲1,058			
税引前当期純利益	10,563	9,776	▲786	▲7.4%		
当期純利益	7,391	7,073	▲317	▲4.3%	6,700	+373
稼働率(全体)	97.2%	96.7%	▲0.5%		96.5%	+0.2%
稼働時間<h/day>	8.83	8.78	▲0.05	▲0.6%	8.82	▲0.04
採用数<名>	455	449	▲6	▲1.3%	473	▲24
新卒採用数	299	338	+39	+13.0%	338	—
中途採用数	156	111	▲45	▲28.8%	135	▲24
退職率	3.9%	4.2%	+0.3%		4.5%	▲0.3%
期末エンジニア社員数<名>	6,497	6,661	+164	+2.5%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加により、
- 売上高は前期比1.7%増収の700億83百万円、
営業利益は1.7%増益の92億13百万円、
当期純利益は、前期のような特別利益が無かったため、
前期比4.3%減益の70億73百万円となりました。
- また、稼働率は96.7%で、前期比で▲0.5%となりました。
- これは、昨年4月に入社した新卒エンジニア社員の
配属業務を厳選した他、
エンジニア社員の次代につながるキャリアアップを狙い、
お客さまや業務ローテーションを
戦略的に推進したためです。
- なお、稼働時間は、前期比、期初予想比、
共に低下しましたが、詳細は、のちほど説明します。

2017年3月期業績 メイテックフィルダース

- ✓ 前期比で、売上高は11.5%増収の148億円（過去最高）、営業利益は11.8%増益
- ✓ 3月末のエンジニア社員数は中期計画1,900人を超える約2,000人に到達

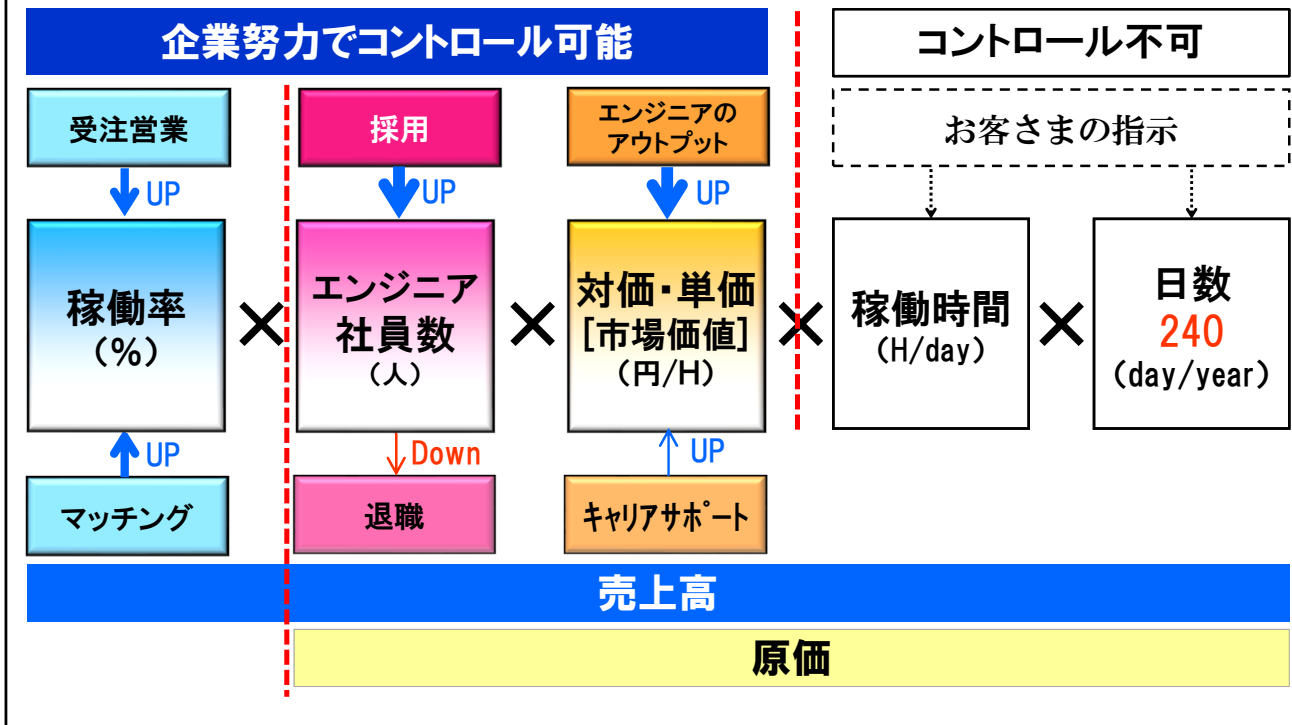
(百万円未満切捨て)	'16年3月期 実績	'17年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'17年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	13,327	14,865	+1,537	+11.5%	14,800	+65
売上原価	10,288	11,540	+1,251	+12.2%	11,500	+40
原価率	77.2%	77.6%	+0.4%		77.7%	▲0.1%
販売管理費	1,834	1,978	+144	+7.9%	2,000	▲21
営業利益	1,204	1,346	+141	+11.8%	1,300	+46
営業利益率	9.0%	9.1%	+0.1%		8.8%	+0.3%
経常利益	1,205	1,346	+141	+11.7%	1,300	+46
特別損益	△7	0	+7			
税引前当期純利益	1,198	1,346	+148	+12.4%		
当期純利益	786	1,045	+259	+33.0%	1,000	+45
稼働率(全体)	96.2%	96.2%	—		95.8%	+0.4%
稼働時間<h/day>	8.97	8.91	▲0.06	▲0.7%	8.95	▲0.04
採用数<名>	312	363	+51	+16.3%	365	▲2
新卒採用数	175	182	+7	+4.0%	182	—
中途採用数	137	181	+44	+32.1%	183	▲2
退職率	7.5%	7.5%	—		6.9%	+0.6%
期末エンジニア社員数<名>	1,783	1,996	+213	+11.9%		

10

- メイテックフィルダースの業績です
- メイテック同様、稼働人員数の増加により、売上高は前期比11.5%増収の148億65百万円、営業利益は11.8%増益の13億46百万円、当期純利益は、税負担の軽減もあり、33.0%増益の10億45百万円となりました。
- なお、前中計は1,900名という目標でしたが、結果、約2,000名に到達しました。

売上高・原価の概要(派遣型)

✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵

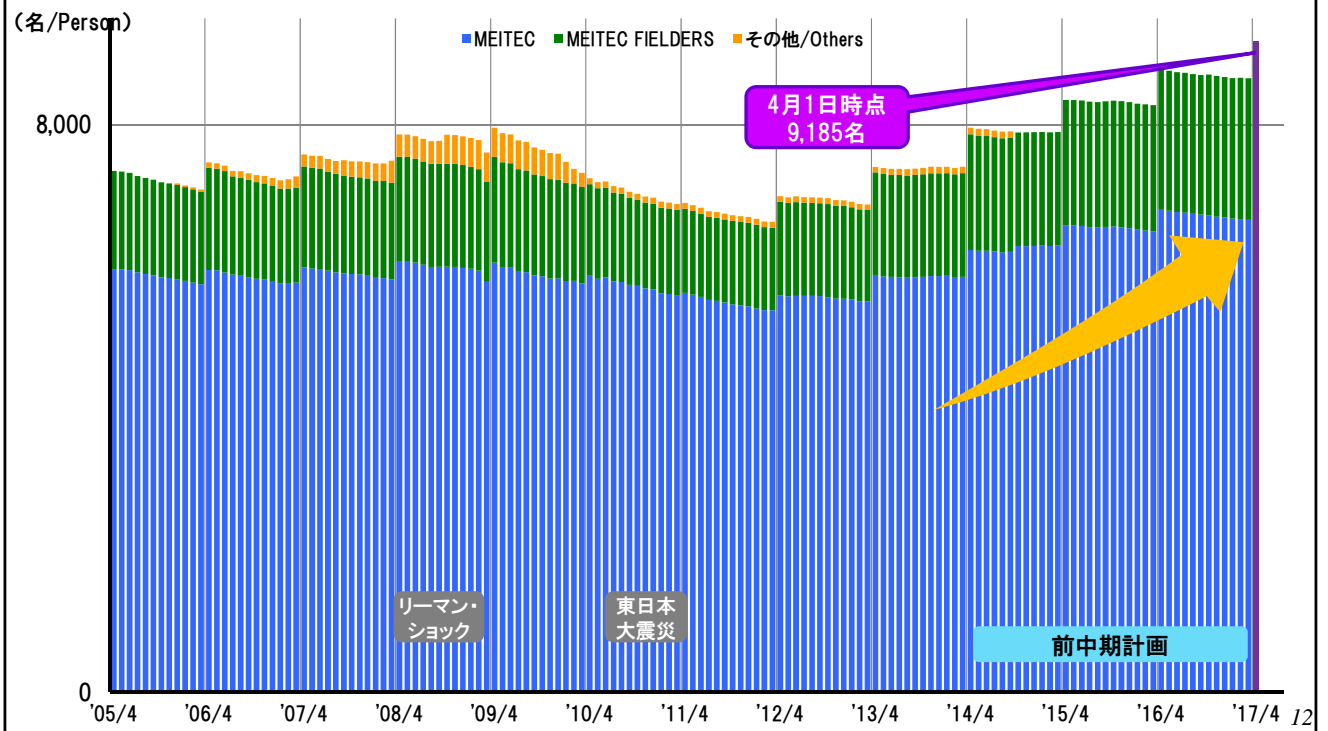


11

- 無期雇用・正社員エンジニア派遣事業の売上高・原価の構成要素の概要です。
- 2017年3月期の実績は、企業努力でコントロール可能な「稼働率、エンジニア社員数、対価・単価」は増収要因、一方、当社によるコントロールは不可の「稼働時間」が減収要因となりました。

エンジニア社員数 グループ連結

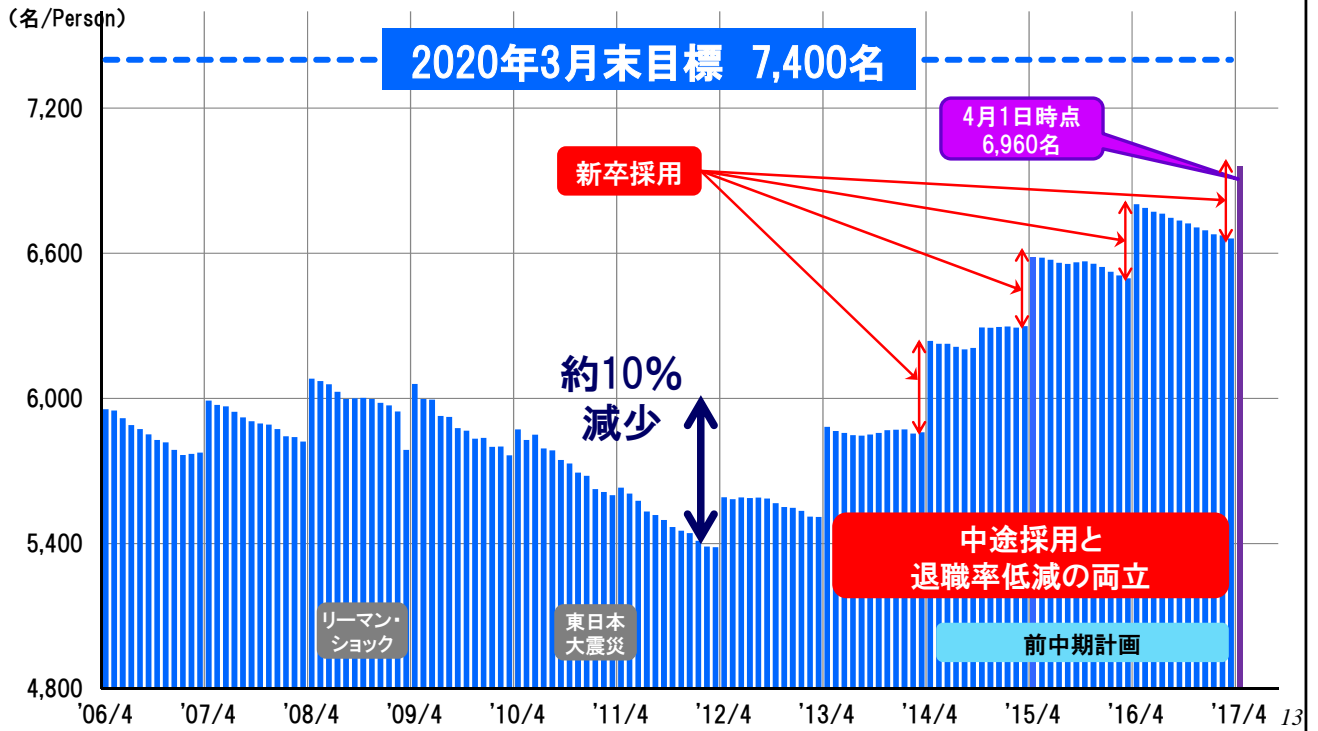
- ✓ 3月末のエンジニア社員数は8,657名（前年3月末比+377名、+4.6%）
- ✓ 今年の4月1日時点では、過去最高の9,185名で新年度をスタート



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+377名、+4.6%増の8,657名、今年4月1日に新卒社員をむかえ、過去最高の9,185名でスタートしました。

エンジニア社員数 メイテック

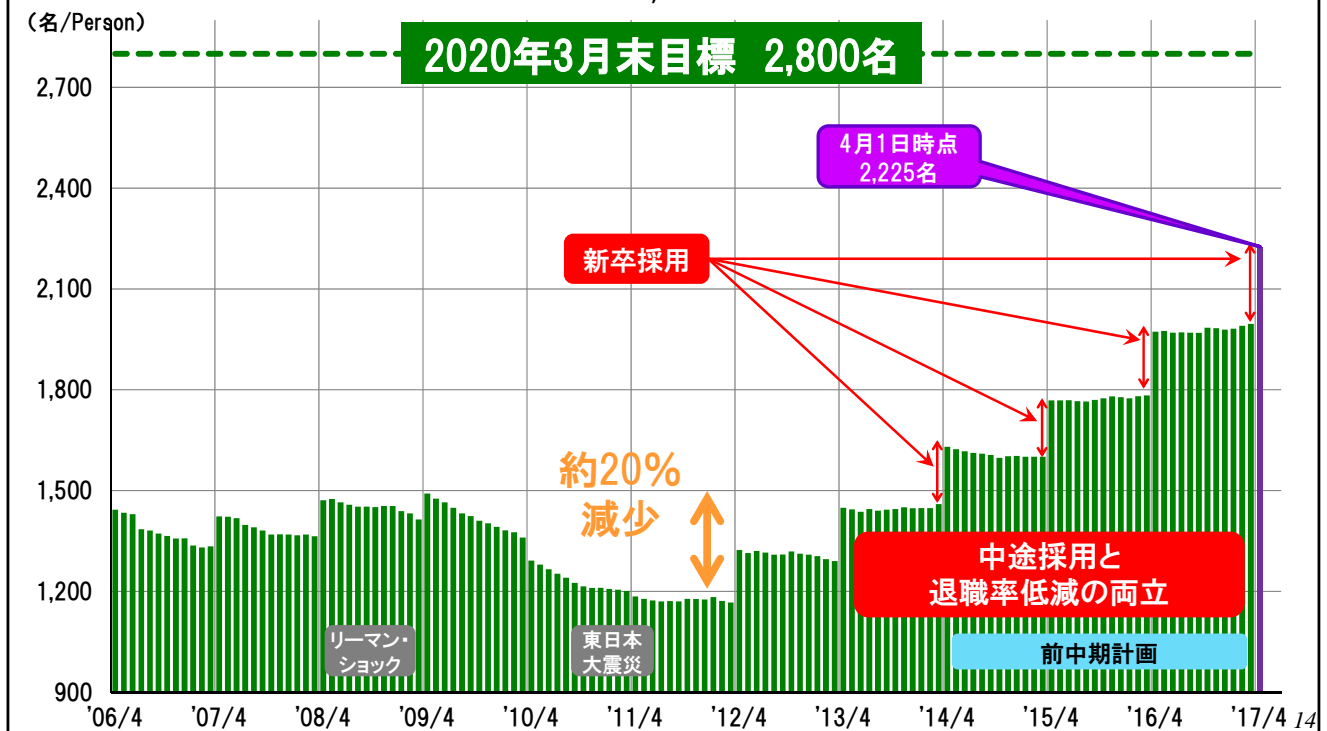
- ✓ 3月末エンジニア社員数は6,661名（前年3月末比+164名、+2.5%）
- ✓ 今年4月新卒入社数は308名、過去最高の6,960名で新年度をスタート



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+164名、+2.5%増の6,661名、今年4月1日に新卒社員308名をむかえ、過去最高の6,960名でスタートしました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダース

- ✓ 3月末エンジニア社員数は1,996名（前年3月末比+213名、+11.9%）
- ✓ 今年4月新卒入社数は213名、過去最高の2,225名で新年度をスタート



- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+213名、+11.9%増の1,996名となり、前期までの3ヶ年中期計画で掲げた当初目標1,900名を大きく達成しました。
- また、今年4月1日に新卒社員213名をむかえ、過去最高の2,225名でスタートしました。

2017年3月期の採用実績

中途採用 (2017年3月期)

- ✓ 受注動向に即した機械系・電気電子系を中心に採用基準を保持しつつ、円滑な配属を前提とした活動を継続
- ✓ 技術者の求人数は継続増加しており、採用環境は更に激化。特に大手・中堅メーカーと採用競合となるメイテックは、入社数の確保に苦戦
- ✓ 採用者数はメイテックで期初予想比▲49名の111名、メイテックフィルダーズでは同比+23名の181名

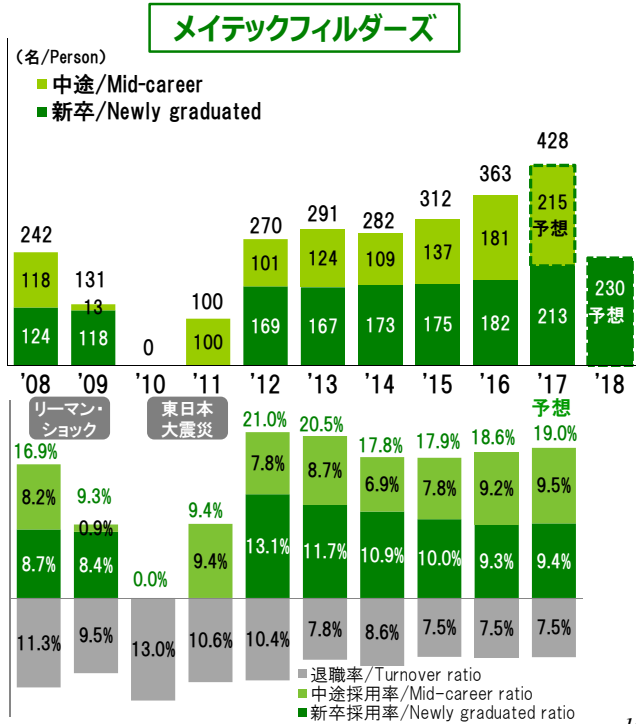
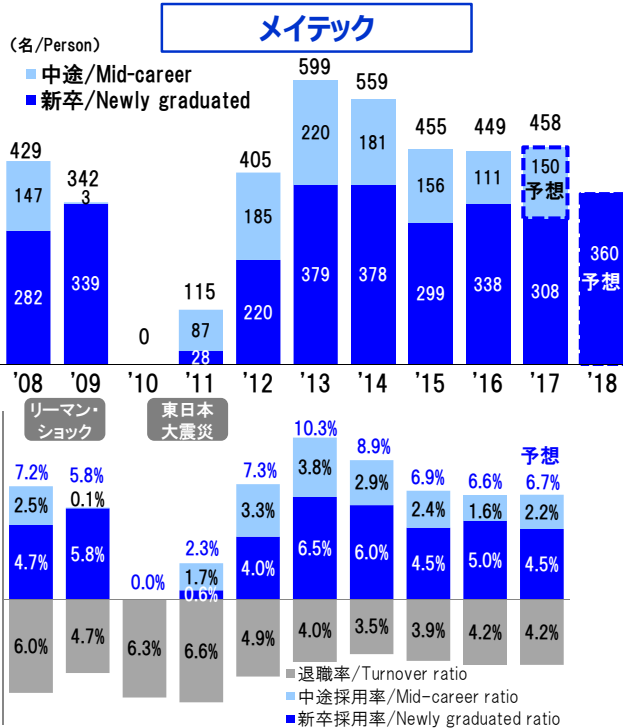
新卒採用 (2017年4月入社)

- ✓ 継続して求人企業数・募集人員は増加、採用環境は極めて厳しい状況の中、新卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提に活動
- ✓ インターンシップによる応募者の業界絞り込みが早期化し、追加応募者の獲得に苦戦。また、地元への就職志向はグループ全体に影響
- ✓ 採用者数はメイテックで、期初予想比▲22名の308名、メイテックフィルダーズで同比+3名の213名

(名)	2017年3月期(2016年度)								2018年3月期(2017年度)					
	16年4月入社 新卒採用数	中途採用数					採用数 合計	前期比	17年4月入社新卒採用数					
		期初予想	11/8公表予想	11/8公表実績	期初予想比	11/8公表比			期初予想	11/8公表 内定見込数	11/8公表実績	期初予想比	前期比	
メイテック	338	160	135	111	▲49	▲24	449	▲6	330	312	308	▲22	▲30	
メイテック フィルダーズ	182	158	183	181	+23	▲2	363	+51	210	205	213	+3	+31	
合計	520	318	318	292	▲26	▲26	812	+45	540	517	521	▲19	+1	
16年3月期比	+46	+25	+25	▲1			+45			11/8公表比	+4			

- 採用実績です。
- エンジニア採用市場の採用環境は、企業の技術者に対する採用ニーズが高まっていることから、依然として厳しい状況が継続しています。
- まず、中途採用です。
- 採用競合が非常に多い、特にメイテックの場合にはメーカー様との競争が厳しい環境の中、採用基準を保持したため、入社数の確保に苦戦し、期初予想比▲49名の111名となりました。一方、メイテックフィルダーズは、応募者確保の工夫など様々な施策が功を奏し、期初予想比+23名の181名となり、グループ全体では292名の採用実績でした。
- 前中計では、採用市場におけるメイテックグループのブランドを構築し、エンジニアの方々やエンジニアを目指す学生の皆様に対して、我々の働き方を訴求することで多くの方々に応募頂きました。
- 次に、新卒採用です。
- 企業求人数・募集人員の増加、採用活動の早期化の影響により、極めて厳しい環境の中、新卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提に活動した結果、メイテックは、期初予想比▲22名の308名となりましたが、一方、メイテックフィルダーズは期初予想比+3名の213名となり、グループ全体では521名の採用実績でした。

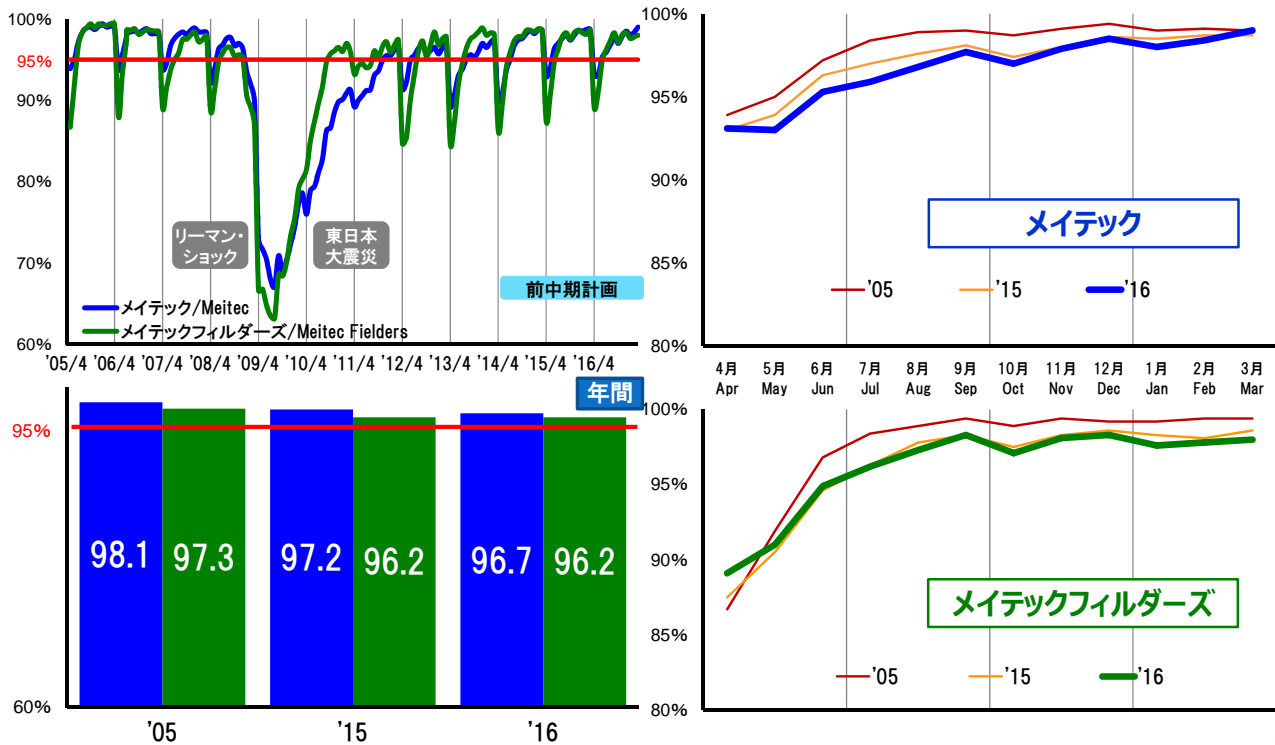
- ✓ 採用環境は厳しいが採用基準は保持
- ✓ 退職率は低い水準を維持 ⇒ 増員に寄与



- 採用者の人数と採用率・退職率の推移です。
- メイテックは、採用基準を保持したため、2016年度の採用率は6.6%で、伸び率は低下しました。なお、退職率は4.2%と引き続き低い水準を維持し、増員に寄与しました。
- メイテックフィルダーズの2016年度の採用率は18.6%と高水準で、退職率も7.5%を維持したため、順調に増員できました。
- 2017年度の予想は、のちほど説明します。

稼働率

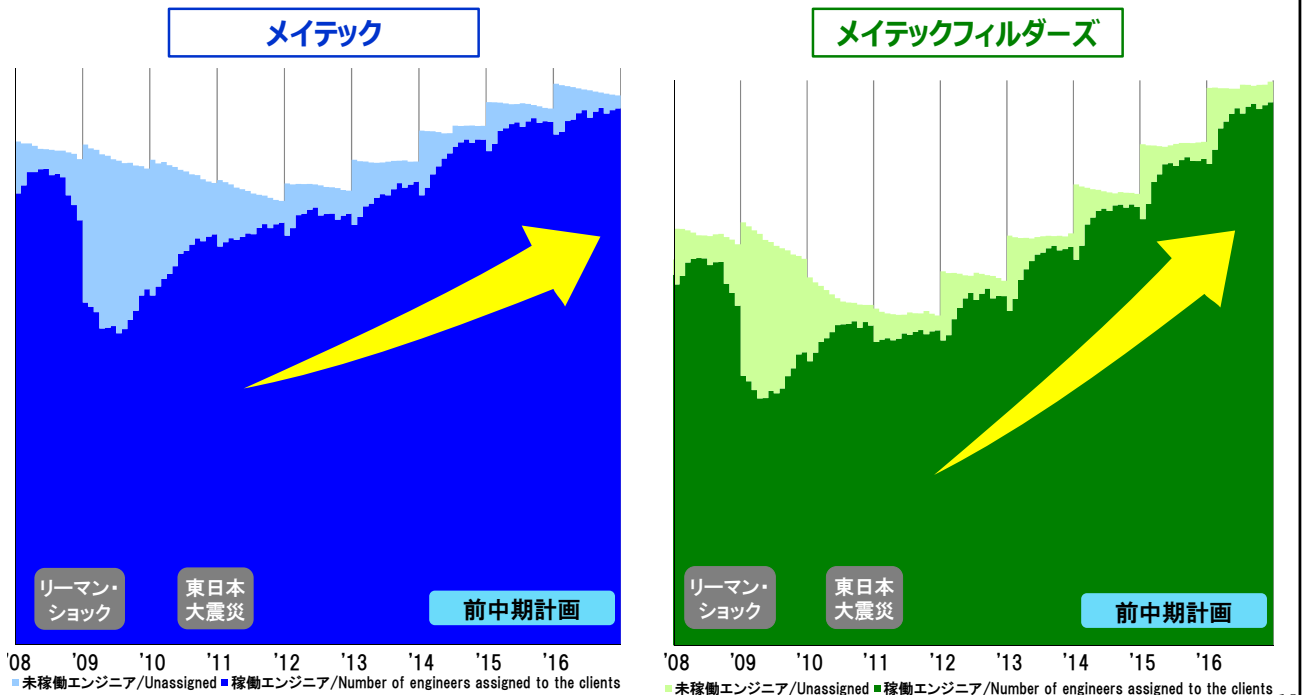
- ✓ 堅調な受注環境の下で稼働率は高水準を維持
- ✓ 新卒エンジニアの配属厳選、ローテーション推進、積極的な中途採用により、稼働率は前期比で微減



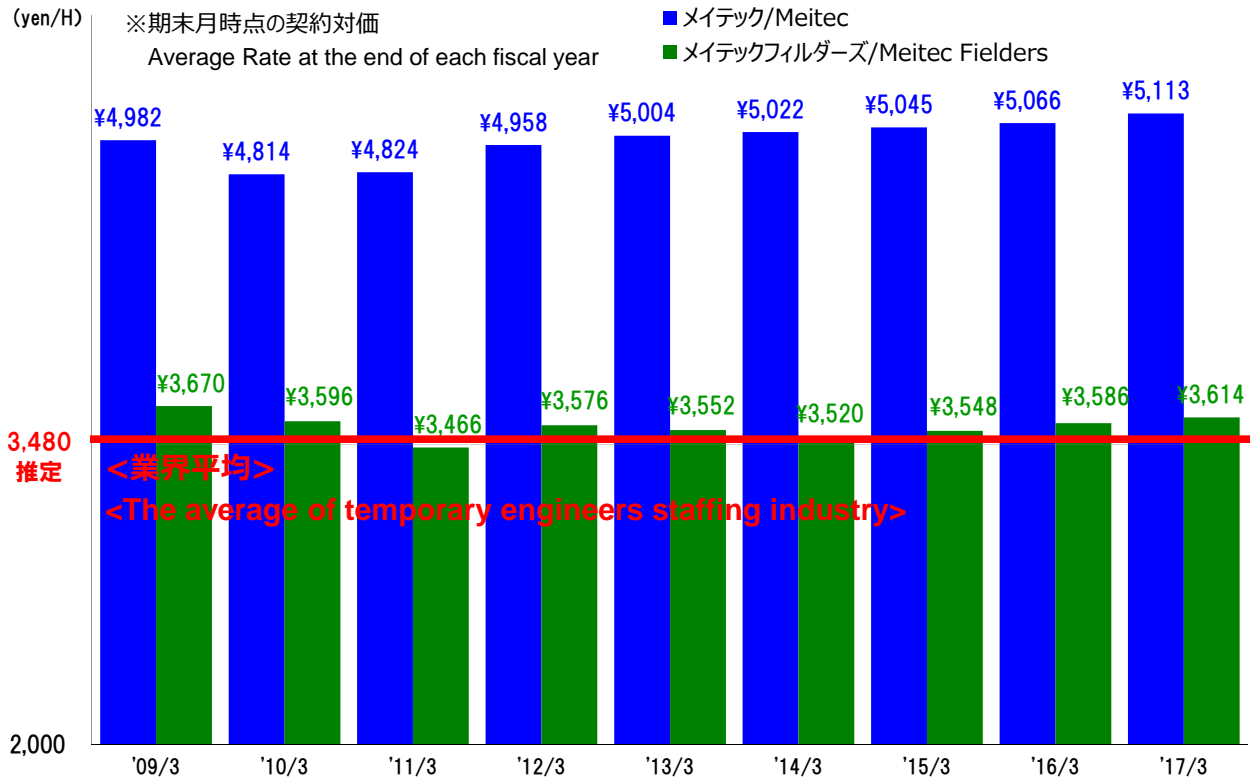
- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に、堅調な受注環境の下、業務の質にこだわりながらも稼働率は安定的に推移しました。
- なお、メイテックは前年実績を若干下回っていますが、その背景は、新卒エンジニア社員の配属業務の厳選、あるいは既存のエンジニア社員のキャリアアップのための業務ローテーション推進等が主な要因です。

稼働人員数 (売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長



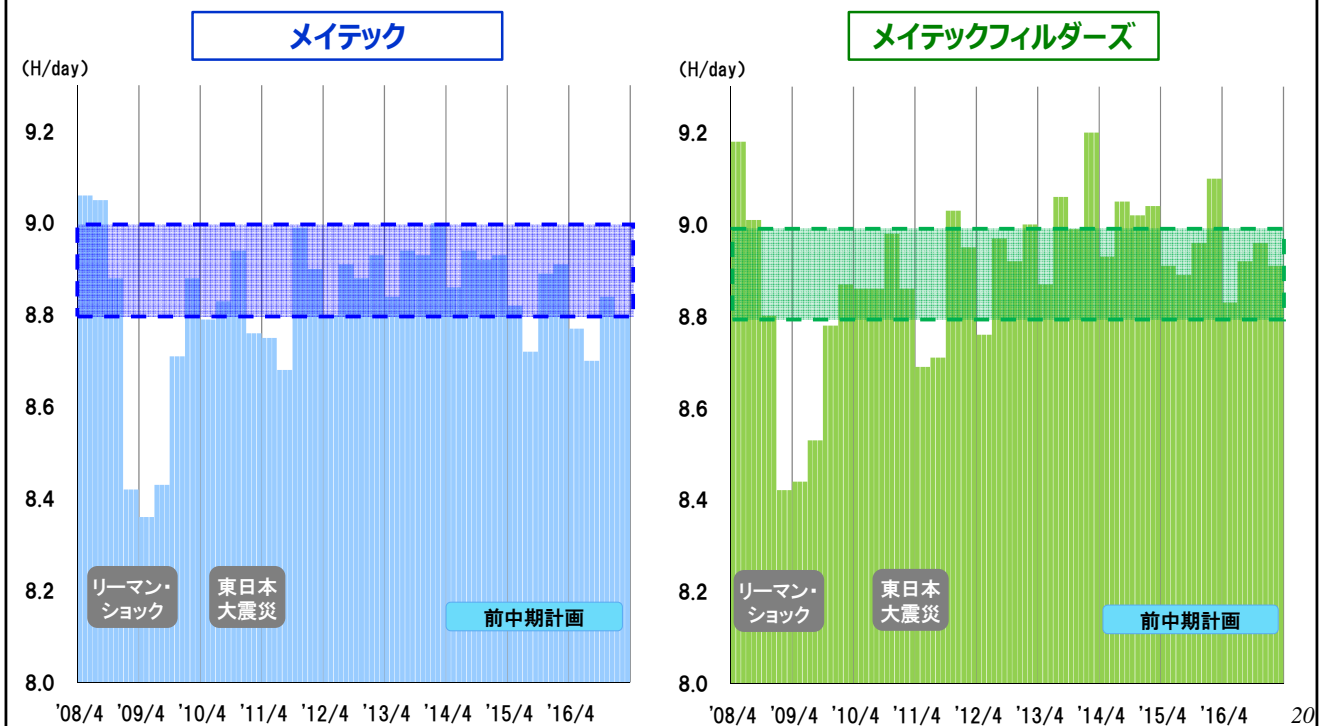
- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。



- 対価・単価の推移です。
- リーディングカンパニーとして、高い品質を維持することで、メイテックの対価は業界平均を大きく超える、5,100円の水準に到達しました。これを維持するためには、採用基準の保持は不可欠と考えています。
- メイテックフィルダーズの対価も業界平均よりやや高めのも、3,600円の水準に到達しました。
- これからも需要と供給の関係に流される事無く、エンジニア一人ひとりが、高いアウトプットにもとづいた対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めていきます。

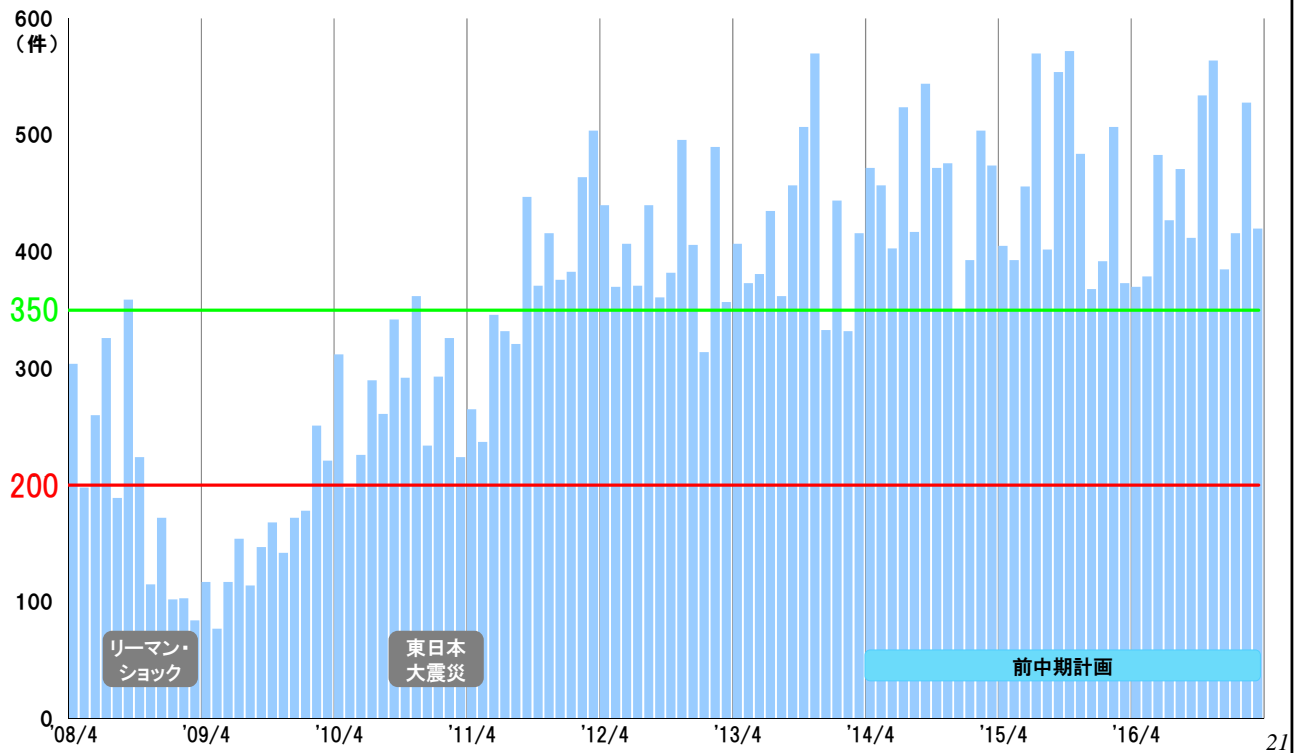
稼働時間

✓ 稼働時間は、時間外労働の減少等を背景に前年比で低下するも安定的に推移



- 稼働時間の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に、一部顧客での時間外労働の減少やワークライフバランスの取り組み等の影響により、稼働時間は前期比で低下しました。
- 稼働時間の0.1時間は売上高の約1%に該当しますので、業績影響の大きい指標の一つです。
- 網掛け部分の8.8時間～9.0時間で推移していると堅調と見ていますが、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能です。

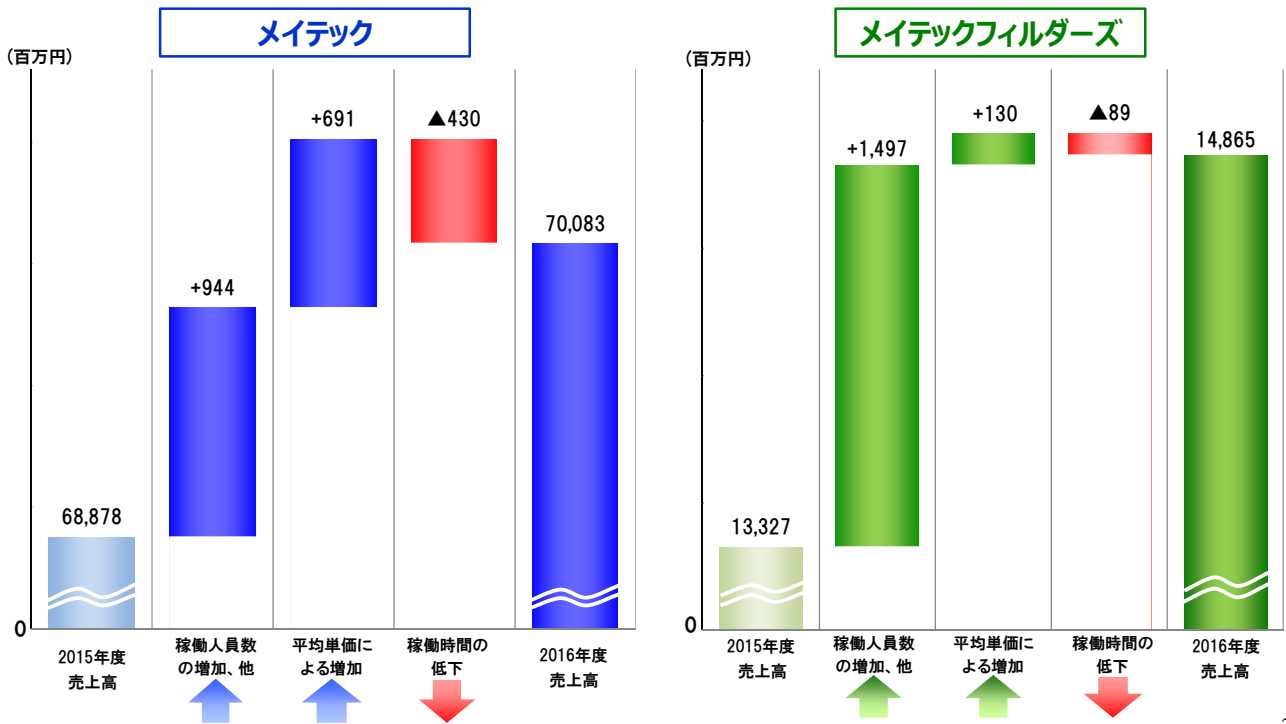
✓ メイテック単体の月間新規受注は、350件/月を超える水準を維持



- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調と判断してきました。
- 足元は製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められています。
- 昨年、今年と、お客さまにおける経営層の方々とお話しをさせて頂いておりますが、為替の問題や業績の問題はあるものの、技術開発投資は変えない、逆に増やすというお話をされるお客さまがほとんどです。その上で、当社も月350件を超える水準を維持しており、これからも堅調に推移していくと想定しています。

売上高前年同期比較

✓ メイテック、メイテックフィルダース共に、増収の主要因は「稼働人員数の増加」、「平均単価による増加」



- メイテック、メイテックフィルダースの売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」、「平均単価による増加」であり、その影響額は記載の通りです。

お客さまの売上TOP10 メイテック

✓ お客さま（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

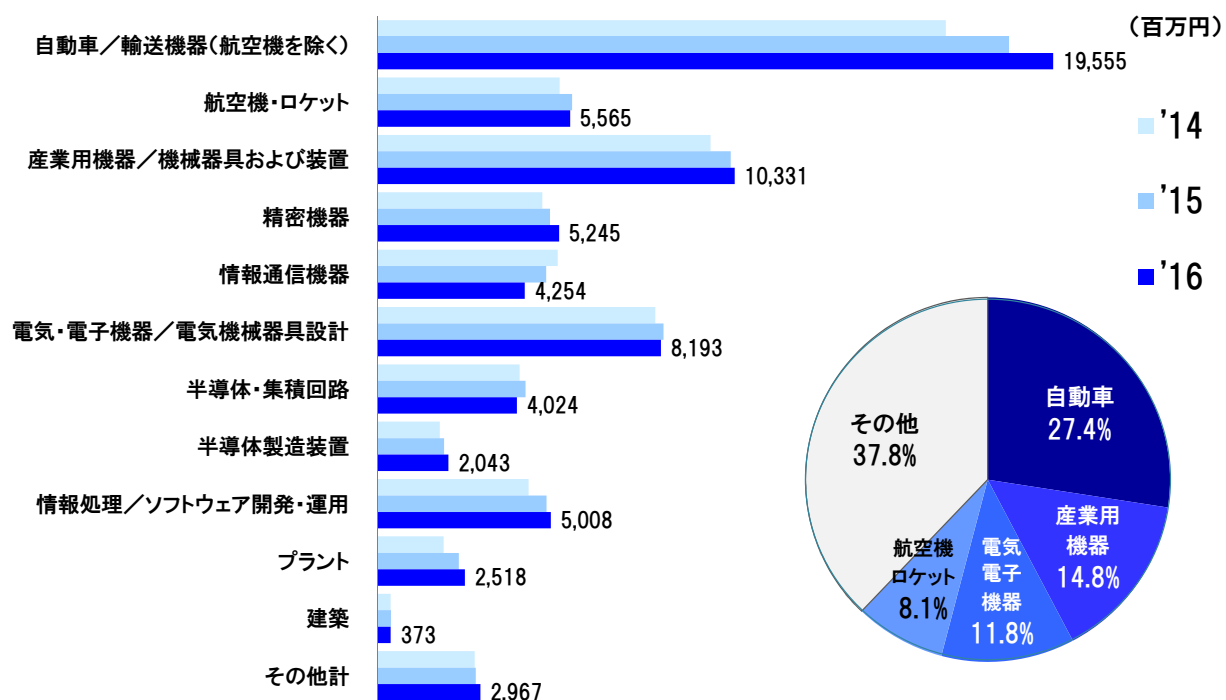
2012年3月期（2011年度）			2016年3月期（2015年度）			2017年3月期（2016年度）		
1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	ニコン 様		2	キヤノン 様		2	デンソー 様	
3	キヤノン 様		3	デンソー 様		3	キヤノン 様	
4	パナソニック 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	デンソー 様		5	トヨタ自動車 様		5	トヨタ自動車 様	
6	トヨタ自動車 様		6	ニコン 様		6	ニコン 様	
7	ソニー 様		7	ソニー 様		7	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
8	川崎重工業 様		8	川崎重工業 様		8	川崎重工業 様	
9	ダイキン工業 様		9	三菱航空機 様		9	三菱航空機 様	
10	三菱電機 様		10	オムロン 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	15,476	29.1%	トップ10社合計	18,040	26.2%	トップ10社合計	17,673	25.2%
トップ20社合計	20,821	39.1%	トップ20社合計	24,867	36.1%	トップ20社合計	24,788	35.4%
その他	32,367	60.9%	その他	44,011	63.9%	その他	45,295	64.6%
合計	53,188	100.0%	合計	68,878	100.0%	合計	70,083	100.0%

※2017年5月11日公表内容より一部修正

23

- メイテックのお客さまの売上TOP10です。
- 順位に大きな変動はございません。
ただし、業務内容は大きく変わっています。
- 自動車業界においては、ADAS、自動運転、安全走行システム等、必要な技術業務へと内容が変化しています。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



24

- 業種別の売上高です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」「産業用機器関連」の伸びが顕著です。

2. 新・中期経営計画〔3ヶ年〕

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

Next Stage 1

- 続いて、新・中期経営計画を説明します。
- 「Next Stage 1」
メイテックグループは
あらためてハイエンド領域を主体として、
人と技術で労働市場の核心を担う
プロのエンジニア集団としてオンリーワングループを目指し、
3ヶ年、取り組んでまいります。

前中期経営計画 総括

- ✓ 2014年に掲げた当初目標値はほぼ達成
- ✓ メイテックフィルダーズの営業利益率とメイテックのエンジニア社員数などが未達

	中期計画 (当初目標)	2016年度 (実績)	中期計画3年目の当初目標		
グループ連結			派遣事業		
売上高	880億円	○ 899億円	売上高		エンジニア 社員数
営業利益	100億円	○ 111億円	○ 680億円	ハイエンド ゾーン	× 6,800名
営業利益率	12%以上	○ 12.4%			
当期純利益	60億円	○ 79億円			
R O E	15%以上	○ 21.1%			
メイテック					
売上高	680億円	○ 700億円	○ 135億円	ボリューム ゾーン	○ 1,900名
営業利益	85億円	○ 92億円			
営業利益率	13%以上	○ 13.1%			
メイテックフィルダーズ			紹介事業		
売上高	135億円	○ 148億円	売上高		職業紹介決定人数
営業利益	13億円	○ 13億円	× 16億円		× 1,300名
営業利益率	9.5%程度	× 9.1%			

26

- まずは、前中期計画の総括です。
- 2014年当時に掲げた当初目標数値は、ほぼ達成しました。
- しかし、メイテックのエンジニア社員数は、当初目標の6,800名に届かなかったことから、今後、成長していく上での大きな課題と認識し、これを踏まえて、次の中期計画を策定しました。

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、 エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

27

- 今回、新中期計画を策定するにあたり、『「人と技術」で「ものづくりの核心」を担うエンジニア集団』であるという、メイテックグループの本質を世の中に正しく伝えていくため、グループの呼称を『Engineering Firm at the Core』と決めました。
- メイテックグループが事業を通じて、世の中にどういう価値を提供しているのか。私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担うエンジニア集団であるということ、その本質をあらためて世の中に正しくお伝えしていきたいという思いを込めています。

Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

- 呼称「Engineering Firm at the Core」が意図することは記載の通りです。
- 「Engineering Firm」は一人ひとりが技術力を磨き、そして当社の強みである「支え合い」の精神でお互いを高め合い、成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であるということです。
- 「The Core」にはふたつの意味を込めています。
- ひとつは技術革新を推進するお客様の「大事な、欠かせない」価値を作り出す存在であるということ。もうひとつは、世の中のエンジニアが職業を軸にして働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であるということです。

新たな事業名称で、新たな中期経営計画をスタート

エンジニアリングソリューション事業

変化する技術トレンドやお客さまの技術戦略に、これからも
ベストパートナーとしてお応えし続けるためには、エンジニア派遣にとどまらず、
今まで培った「人と技術」の力でサービス提供の幅を拡げ、
お客さまに最適な解決策を提供し続けることが大切であるという意味で
「エンジニアリングソリューション事業」と改称しました。

29

- また、グループ・セグメントの名称を、
- 「エンジニア派遣事業」から
「エンジニアリングソリューション事業」へ変更します。
- 技術革新が非常に激しく、
お客様のニーズも高度化している中で、
核心を担えるベストパートナーになるためには、
単にこれまでのエンジニア派遣にとどまらず、
人と技術の力でサービスの幅を広げる、
そしてお客様の問題解決に対して
ベストな技術ソリューションを提供していくという
意図を込めて
エンジニアリングソリューション事業に改称させて
頂いております。

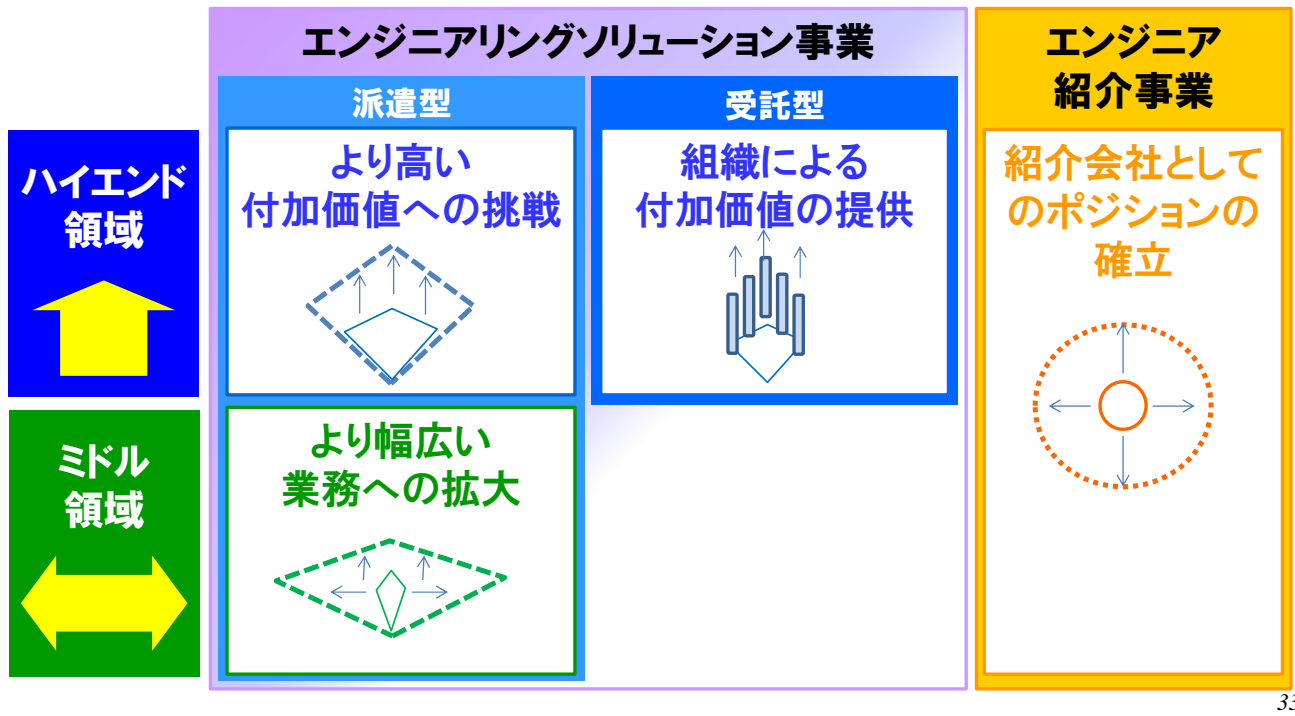
積極的成長に向けた競争力の強化

2019年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア 紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,000億円	780億円	200億円	24億円
営業利益	130億円	100億円	17億円	6億円
営業利益率	13%	13%	9%	25%
当期純利益	90億円			
ROE	20%	✓ 利益配分の基本方針を若干見直して、 3ヶ年の利益配分計画を策定		

32

- 新中期計画最終年の2019年度の収益目標です。
- これからの3ヶ年は、「積極的成長に向けた競争力の強化」を掲げて、グループ連結では、過去最高水準の売上高1,000億円、営業利益は130億円、営業利益率は13%、当期純利益は90億円、ROEは20%としました。
- 詳細についてはのちほど説明します。

積極的成長に向けた競争力の強化



33

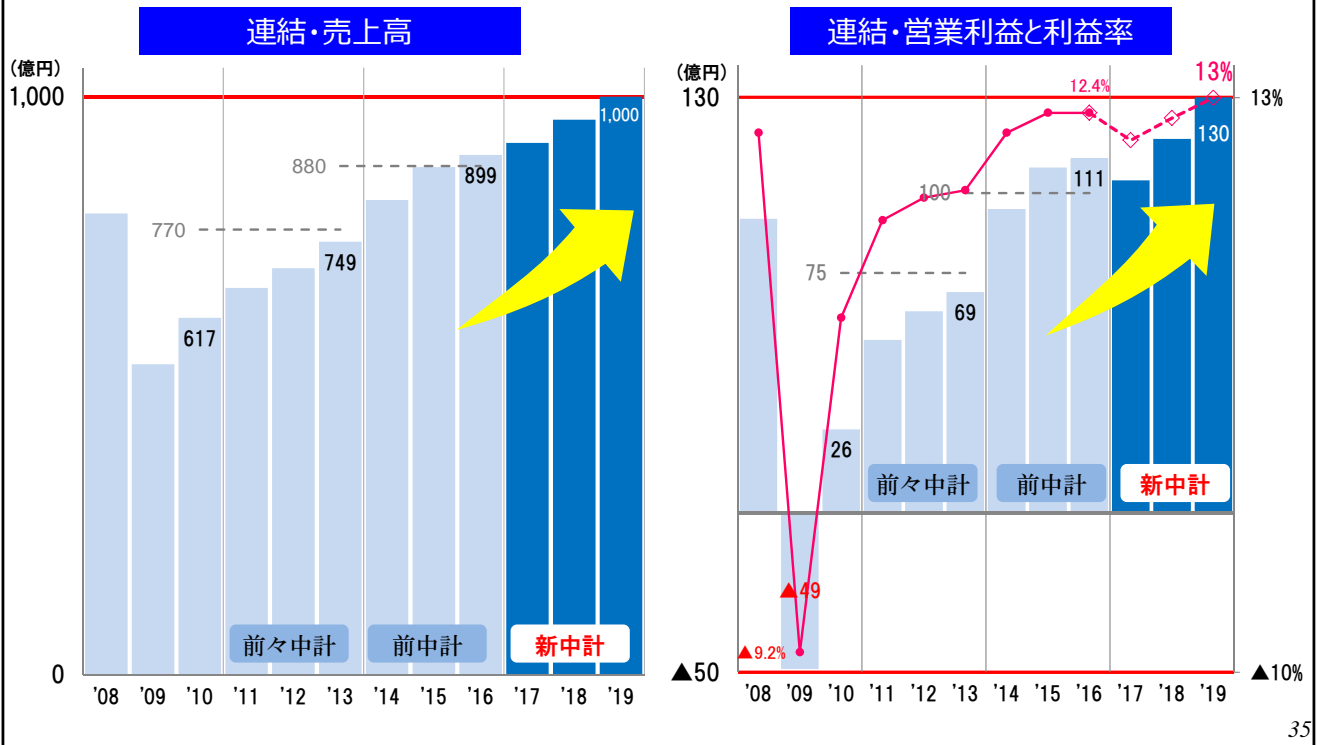
- 新中期計画では、メイテックグループがハイエンド領域を主体としたオンリーワンの企業グループになることを目指し、エンジニアリングソリューション事業とエンジニア紹介事業の2つの事業を推進していきます。
- エンジニアリングソリューション事業では、ハイエンドを主体とした領域の中でも、より技術レベルの高い業務フェーズとなる領域をメイテックグループの長期的な戦略として担うべきポジションと定め、更に強化します。
同時に、ミドル領域のお客さまのニーズにももっとお応えすることで、本格的な拡大戦略を展開していきます。
- 事業の中核である「派遣型エンジニアリングソリューション（旧エンジニア派遣事業）」と「エンジニア紹介」は更なる成長に取り組みます。
また、これまで培ってきた強みをもとに、新たな事業価値を想像するため、「受託型エンジニアリングソリューション」に挑戦していきます。



34

- エンジニアリングソリューション事業とエンジニア紹介事業の将来像と3年後の事業目標、施策は記載の通りです。

✓ 2019年度の目標は、売上高1,000億円、営業利益130億円、営業利益率13%

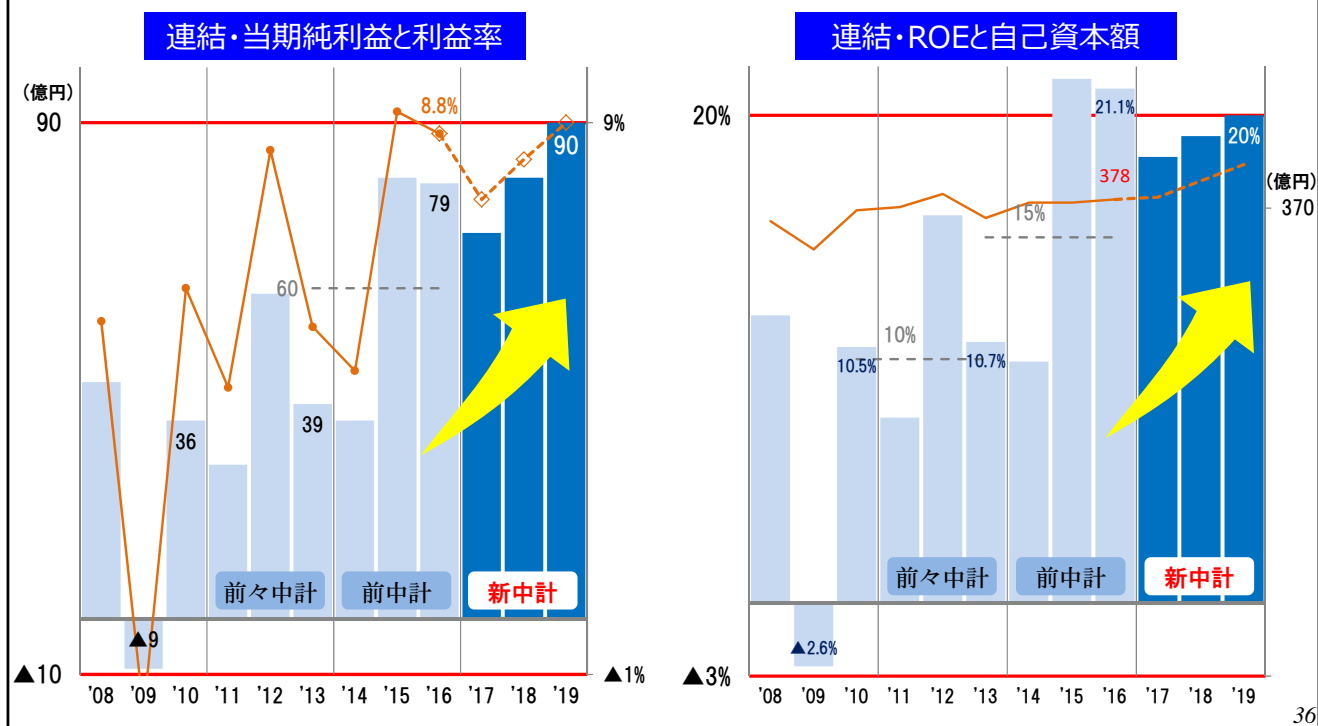


- 売上高、営業利益、営業利益率の過去実績と今回目標の水準はご覧の通りです。
- 新中期計画初年度の目標は、業績予想で説明します。

Next Stage 1 収益目標

✓ 2019年度の目標は、当期純利益90億円、自己資本利益率（ROE）20%

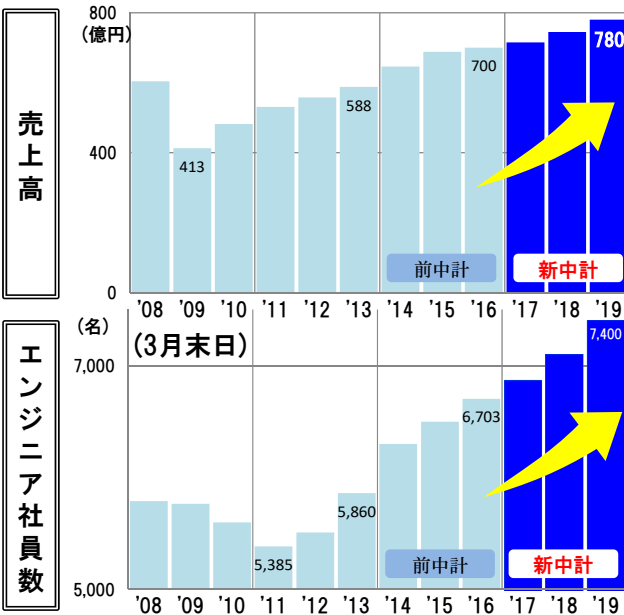
※3ヶ年の利益配分計画を参照



- 当期純利益と自己資本利益率の過去実績と今回目標の水準はご覧の通りです。

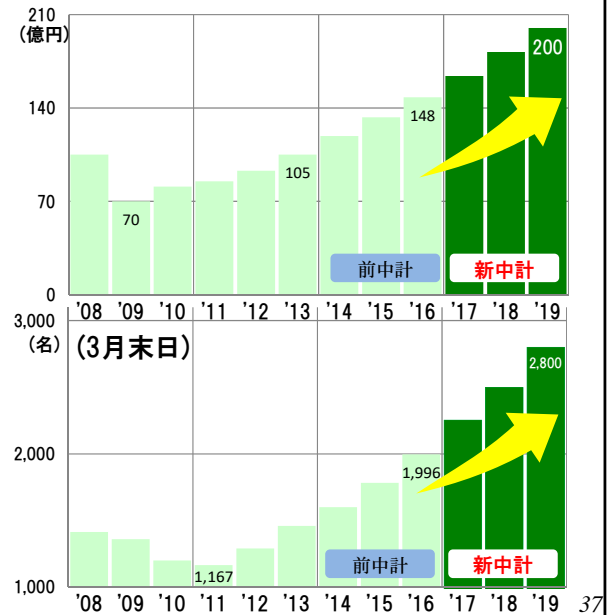
より高い付加価値への挑戦
組織による付加価値の提供

3年で12%弱(年率4%)成長



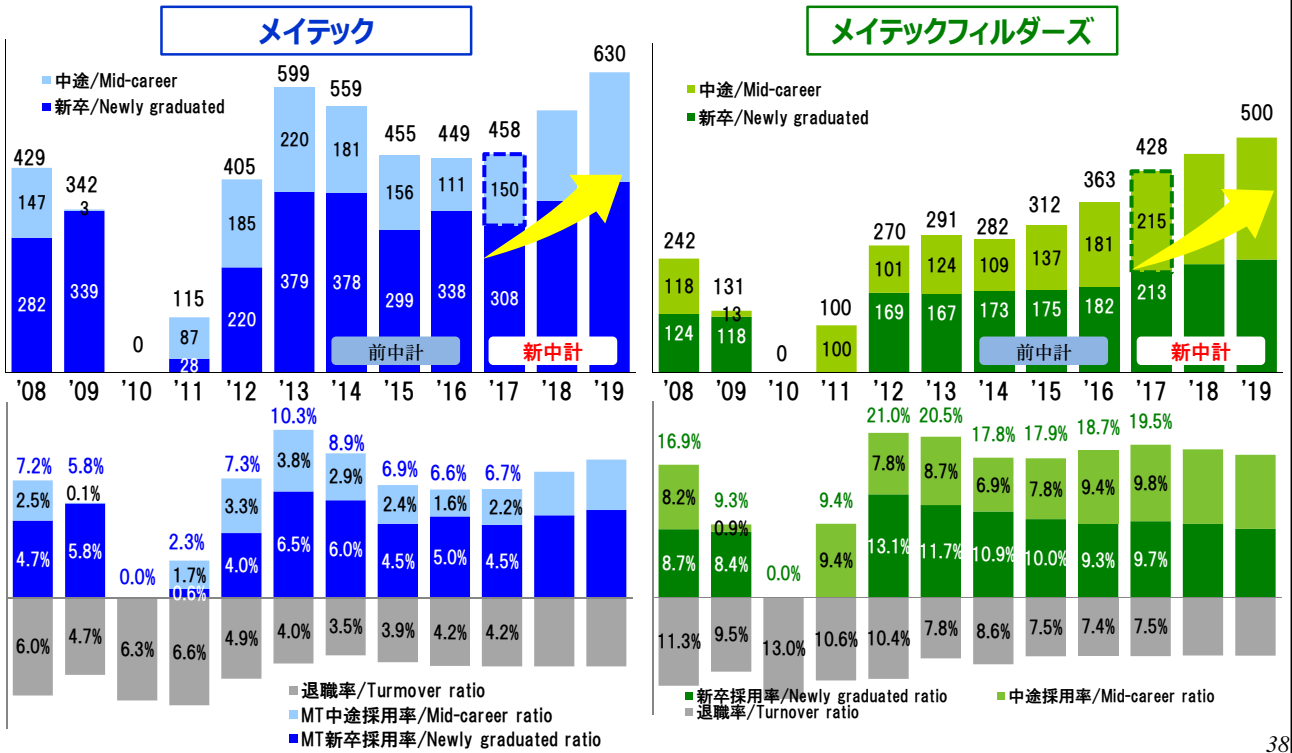
より幅広い領域への拡大

3年で35%強(年率11%)成長



- メイテックとメイテックフィルダーズの収益などの過去実績と今回目標の水準はご覧の通りですが、今後3ヶ年で、メイテックは12%弱、年率4%の成長を、メイテックフィルダーズは35%強、年率11%の成長を目指します。

✓ 中期経営計画最終年度の年間採用数はメイテック:630名、メイテックフィルダース:500名を目指す



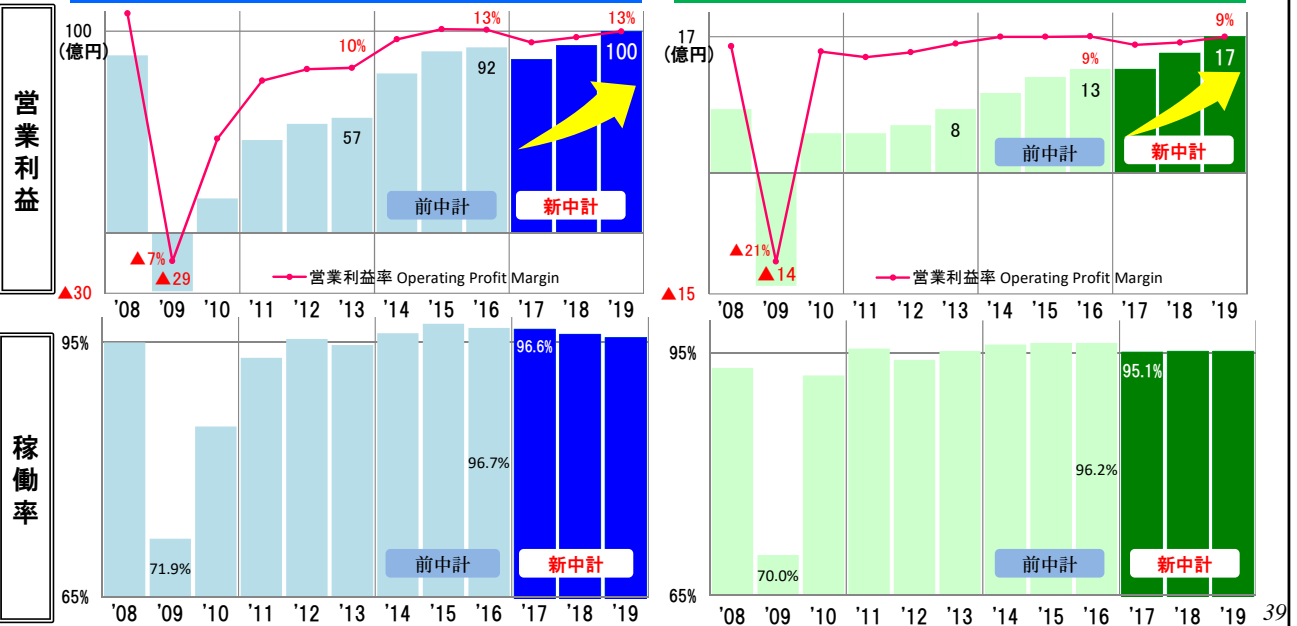
- 新中期計画最終年度のグループの期末エンジニア社員数10,200名達成に向けて、計画最終年度の年間採用数は、メイテックで630名、メイテックフィルダースで500名を目指します。
- なお、メイテックフィルダースの採用率は年々下がる見込みですが、これは、(フローの)採用人数の伸び以上に、(ストックの)エンジニア社員数が増加するためです。

より高い付加価値への挑戦
組織による付加価値の提供

営業利益目標:100億円

より幅広い領域への拡大

営業利益目標:17億円



- メイテックとメイテックフィルダーズの営業利益目標と稼働率の過去実績と今回目標の水準はご覧の通りです。

✓ 2017年度からスタートする中期経営計画を踏まえ、若干見直し

2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の
取得・
保有・消却

自己株式の取得

総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

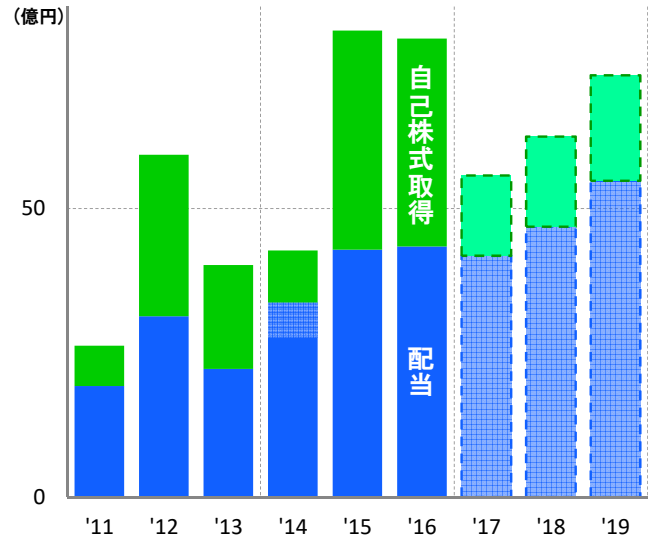
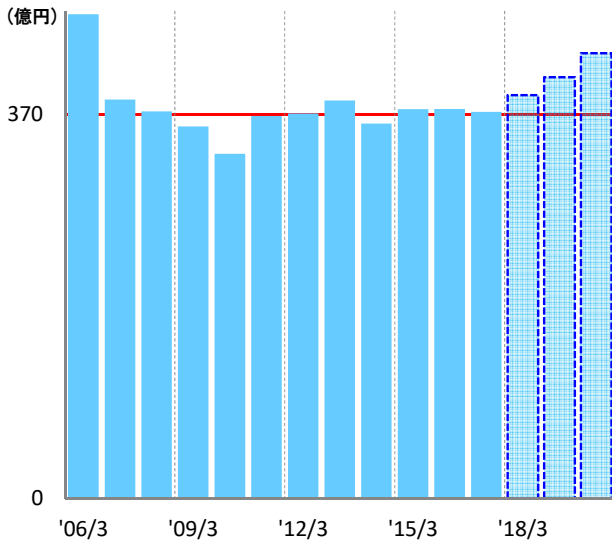
41

- 中期計画で「積極的成長」を掲げてリスクテイクしていくため、改めて利益配分の前提となる考えを明示する、という若干の見直しを行いました。
- 自己資本の質と量の充実が最優先、と過去から説明してきましたが、これを前提条件として具体的に明示しました。
- 他は、従前からの方針に対して変更ありません。

Next Stage 1 3ヶ年の利益配分の計画

1. エンジニア社員数の増加に伴い自己資本の充実を図り、計画最終年度'20年3月末の自己資本を約400億円*に積み増す
(*期末配当控除後)

2. 3ヶ年の総還元性向は80%程度
(1) 配当性向60%
(2) 自己株式取得20%
(内訳は株主・投資家との対話を反映)



- 次に、新中期計画3ヶ年の利益配分計画です。
- 中期計画におけるリスクテイクの状況を踏まえて、自己資本の充実を図るために、2020年3月末の自己資本は約400億円に積み増すこととして、総還元性向は80%程度とし、皆さま方との対話の中での御意見も踏まえて、内訳は配当性向60%、自己株式取得20%とする計画です。

3. 2018年3月期 業績予想

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 最後に、新中期計画初年度となる、2018年3月期の業績予想を説明します。

2018年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 売上高は前期比+2.2%の920億円（過去最高）、営業利益は同比▲6.7%の104億円を予想
→ 販売管理費が同比+10.3%の影響 → 次頁以降で個社毎に説明
- ✓ 当期純利益は前期比▲11.8%の70億円を予想

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	92,000	+2,020	+2.2%	45,000	+888	+2.0%	47,000
売上原価	67,900	+1,482	+2.2%	33,400	+538	+1.6%	34,500
販売管理費	13,700	+1,281	+10.3%	6,800	+621	+10.1%	6,900
営業利益	10,400	▲742	▲6.7%	4,800	▲271	▲5.3%	5,600
営業利益率	11.3%	▲1.1%		10.7%	▲0.8%		12.0%
経常利益	10,400	▲745	▲6.7%	4,800	▲274	▲5.4%	5,600
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	▲937	▲11.8%	3,100	▲366	▲10.6%	3,900
1株当たり当期純利益(EPS)	246.07	▲28.25		108.97	▲9.86		

44

- グループ連結の業績予想です。
- 売上高は前期比+2.2%増収、過去最高の920億円、営業利益は前期比▲6.7%減益の104億円としました。営業利益は前期比で減益の見通しですが、主に販管費の増加を見込んでいるためです。販管費の増加理由は、のちほど各社別の業績予想で説明します。
- 営業利益の減益、税負担の軽減等を背景に、当期純利益は前期比▲11.8%減益の70億円としました。

2018年3月期業績予想 メイテック

- ✓ 売上高は前期比2.0%増収の715億円、営業利益は同比▲6.7%の86億円を予想
- ✓ 販売管理費は、システム費用の増加（前期に予定した案件のズレ）が主因

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	71,500	+1,416	+2.0%	35,000	+926	+2.7%	36,500
売上原価	53,100	+1,086	+2.1%	26,100	+554	+2.2%	27,000
原価率	74.3%	+0.1%		74.6%	▲0.4%		74.0%
販売管理費	9,800	+943	+10.7%	4,900	+473	+10.7%	4,900
営業利益	8,600	▲613	▲6.7%	4,000	▲100	▲2.4%	4,600
営業利益率	12.0%	▲1.1%		11.4%	▲0.6%		12.6%
経常利益	9,300	▲498	▲5.1%	4,700	+20	+0.4%	4,600
当期純利益	6,500	▲573	▲8.1%	3,200	▲79	▲2.4%	3,300
稼働率(全体)	96.6%	▲0.1%		95.7%	+0.4%		97.6%
稼働時間<h/day>	8.78	—		8.74	—		8.82
採用数<名>	458	+9					
新卒採用数	308	▲30					
中途採用数	150	+39					
退職率	4.2%	—					
				2018年4月入社の 新卒採用目標数	17年4月 実績比		
				360	+52		

45

- メイテック単体の業績予想です。
- 売上高は前期比+2.0%の715億円、営業利益は前期比▲6.7%の86億円としました。
- 営業利益の減益見通しの理由は、主に販管費の増加になります。
- 販管費の増加理由は、採用経費の増加の他、前期に予定したシステム案件が今期にずれ込んだことによるシステム費用の増加を見込んでいるためです。
- なお、原価率も前期比でわずかに上昇を見込んでいますが、稼働率の見通しが前期比でわずかな低下を見込んでいるためです。
- これらにより、当期純利益は前期比▲8.1%減益の65億円としました。

2018年3月期業績予想 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比10.3%増収の164億円、営業利益は同比▲3.4%の13億円を予想
- ✓ 販売管理費は、採用経費（人数増）とシステム費用の増加が主因

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	16,400	+1,534	+10.3%	7,900	+681	+9.4%	8,500
売上原価	12,800	+1,259	+10.9%	6,200	+562	+10.0%	6,600
原価率	78.0%	+0.4%		78.5%	+0.4%		77.6%
販売管理費	2,300	+321	+16.2%	1,100	+160	+17.1%	1,200
営業利益	1,300	▲46	▲3.4%	600	▲41	▲6.4%	700
営業利益率	7.9%	▲1.2%		7.6%	▲1.3%		8.2%
経常利益	1,300	▲46	▲3.5%	600	▲39	▲6.2%	700
当期純利益	900	▲145	▲13.9%	400	▲123	▲23.6%	500
稼働率(全体)	95.1%	▲1.1%		93.2%	▲1.3%		97.0%
稼働時間<h/day>	8.91	—		8.87	—		8.94
採用数<名>	428	+65					
新卒採用数	213	+31					
中途採用数	215	+34					
退職率	7.5%	—					
				2018年4月入社の 新卒採用目標数	17年4月 実績比		
				230	+17		

46

- メイテックフィルダースの業績予想です。
- 売上高は前期比+10.3%増収の164億円、営業利益は前期比▲3.4%減益の13億円としました。
- 営業利益の減益見通しの理由は、原価と販管費の2つです。
- 原価率の増加は、稼働率見通しが前期比で低下を見込んでいるためです。
- なお、稼働率が前期比▲1.1%減少を見込む背景は、採用数の増加です。
- 販管費の増加は、採用経費とシステム費用の増加が主な理由です。
- これらにより、当期純利益は前期比▲13.9%減益の9億円としました。

2018年3月期の採用目標

中途採用（2018年3月期）

- メーカーへの転職希望者の決定数は継続して増加しており、企業の求人ニーズに衰えはみられない
→転職市場は継続激化
- ✓引き続き、採用基準を保持した上で、機械系・電気電子系を中心に、効率的な採用活動を継続
→生涯プロエンジニアを継続創出する事業事実の理解促進による応募者集客力強化
→紹介会社との連携強化

新卒採用（2018年4月入社）

- 2012年以降、連続して求人企業数、採用計画数が伸びており、引き続き厳しい競争環境
- ✓生涯プロエンジニアに至る具体的なキャリアパスを理解してもらうことに注力（インターンシップ開催他）
- ✓応募者志向を大切にされた採用活動を継続
- ※設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わるソリューション提供のため、採用基準は下げられない

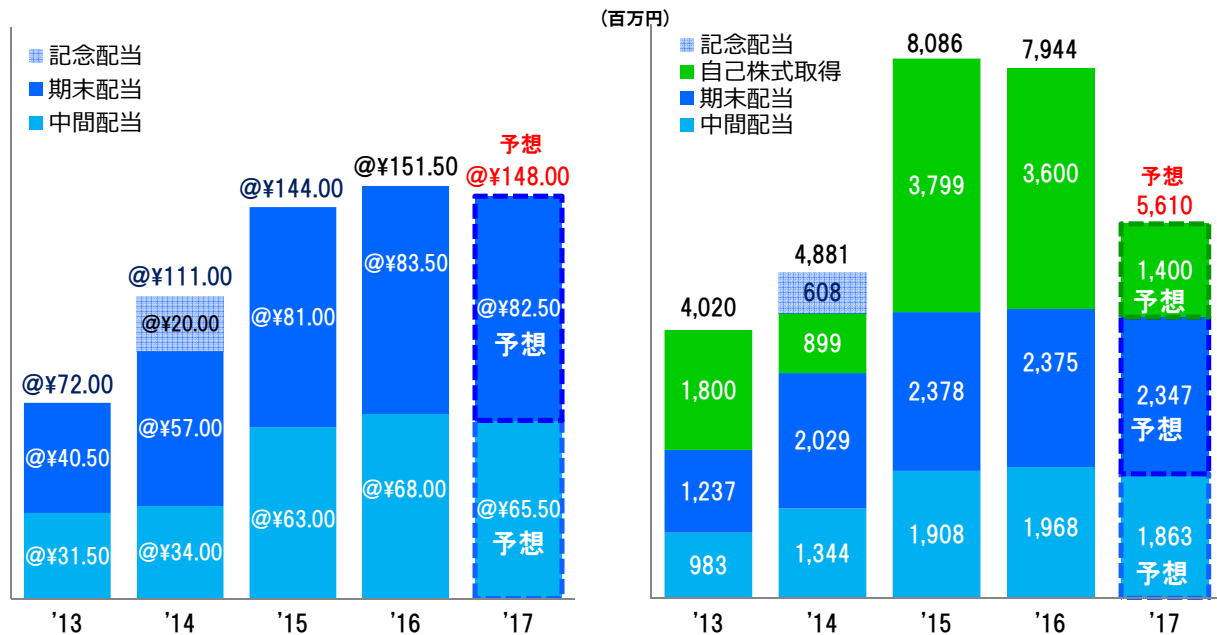
(名)	2018年3月期					2019年3月期	
	17年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		18年4月入社 新卒採用数	
		〈目標〉	前期比	〈目標〉	前期比	〈目標〉	前期比
メイテック	308	150	+39	458	+9	360	+52
メイテック フィルダークズ	213	215	+34	428	+65	230	+17
合計	521	365	+73	886	+74	590	+69

- 採用目標です。
- 採用環境は、エンジニアの人材不足から企業の求人数が多く、非常に厳しい状況になっておりますが、前期実績を上回る採用目標を掲げました。
- なお、新卒採用ですが、新聞記事を見ると、日本企業全体では53番、理工系学生だけでは2番目の規模であり、引き続き、かなり大きな水準と認識していますが、理工系学生の皆様の就職において、エンジニアとしての働き方が一定の理解を頂いて、応募、採用に至っています。
- 厳しい採用環境であっても、従来と変わらない採用基準を堅持し、様々な方策を講じて応募者集客力の強化を図ること、応募者志向を大切にされた活動を展開すること、により、高い目標を達成していきたいと考えています。

利益配分の実績と予想

- ✓ 2016年度の期末配当は83.5円、中間配当68円と合わせて年間配当金は151.5円
- ✓ 2017年度は中期経営計画の利益配分計画に則し総還元性向は80%程度

$$\text{総還元性向80\%} = (\text{普通配当42億円} + \text{自己株式取得額14億円}) \div \text{当期純利益予想70億円}$$



48

- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 2016年度の期末配当は、当期純利益が業績予想を上回ったため、公表予想の一株当たり71円50銭から83円50銭へ12円ほど引き上げ、株主総会へ上程します。なお、中間配当金68円と合わせて年間配当金は151円50銭です。
- 2017年度の予想は、先ほど説明した利益配分計画に即し、総還元性向80%とします。これにより、当期純利益の予想は70億円ですので、普通配当は年間総額約42億円で一株当たり148円、自己株式取得は14億円、の予想とします。
- 私からの説明は以上です。今後も皆様のご期待に応え続けられるよう、メイテック、メイテックグループが持続的に成長し、投資家の皆様に対する還元ができる状態を作りたいと思いますので、今までにも増して、ご理解とご支援を賜りたいと思います。ご清聴、ありがとうございました。

4. 参考資料

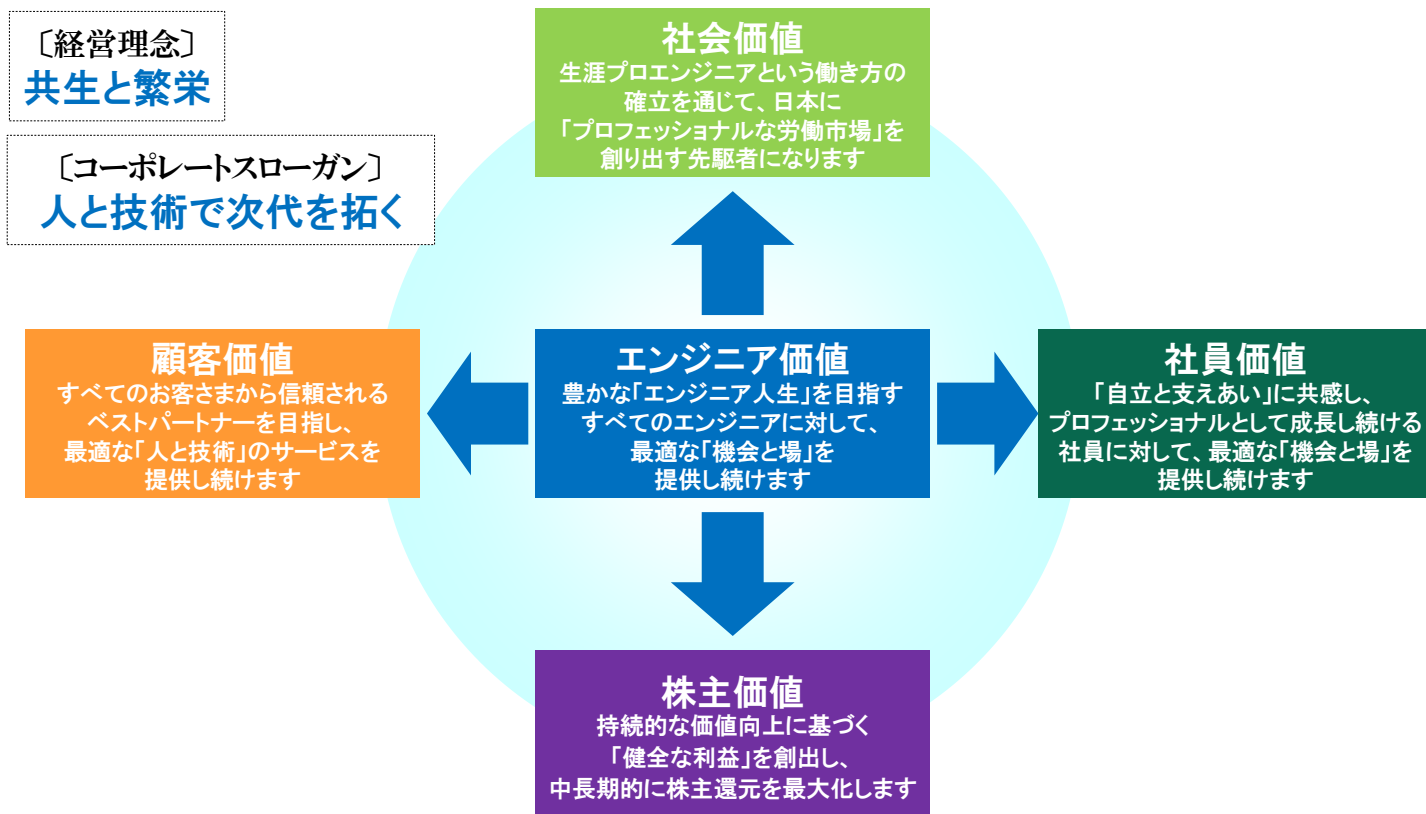
人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

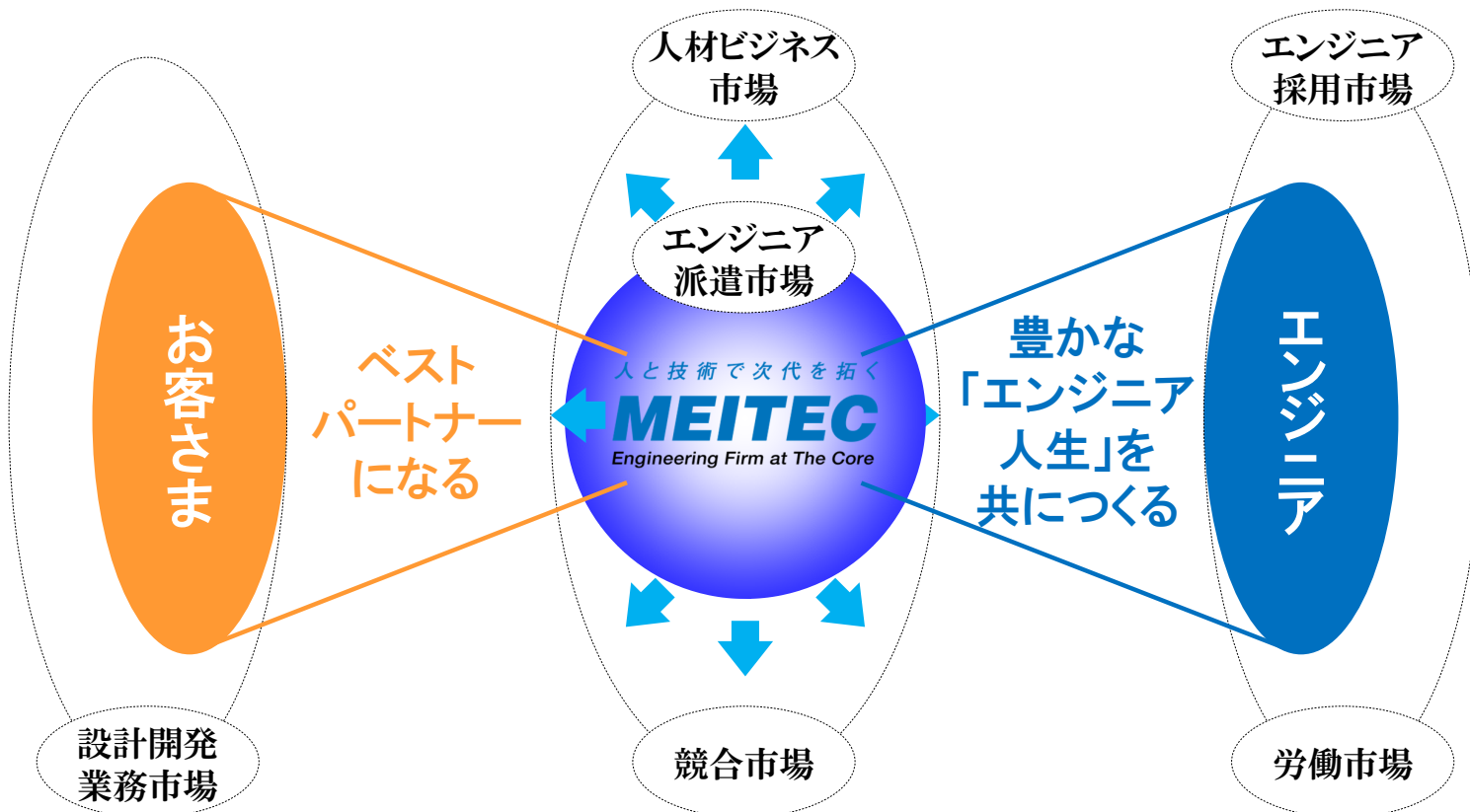
余白

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



51

メイテックグループの価値提供先



52

2017年3月期業績

✓ 紹介事業のメイテックネクストの営業利益率は30%強、アポロ技研売却、中国事業中止

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	70,083	14,865	2,739	95	1,483	114	56	985
前期比 増減額	+1,204	+1,537	+103	+26	+162	▲18	▲13	▲1,019
前期比 増減率	+1.7%	+11.5%	+3.9%	+38.5%	+12.3%	▲14.0%	▲19.4%	▲50.9%
営業利益	9,213	1,346	113	△29	517	23	△19	△47
前期比 増減額	+151	+141	+25	+0	+83	▲27	+13	▲116
前期比 増減率	+1.7%	+11.8%	+29.6%	—	+19.2%	▲53.3%	—	—
経常利益	9,798	1,346	113	△29	517	23	△18	△47
当期純利益	7,073	1,045	80	△29	334	15	△18	△14

53

2018年3月期業績予想

✓ 全社で増収見込みだが、システム経費等の増加で減益見込み

(百万円)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア 紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	71,500	16,400	2,800	130	1,500
前期比 増減額	+1,416	+1,534	+60	+34	+16
前期比 増減率	+2.0%	+10.3%	+2.2%	+36.1%	+1.1%
営業利益	8,600	1,300	70	△20	400
前期比 増減額	▲613	▲46	▲43	—	▲117
前期比 増減率	▲6.7%	▲3.4%	▲38.1%	—	▲22.6%
経常利益	9,300	1,300	70	△20	400
当期純利益	6,500	900	40	△20	250

※2017年4月より、従来の「派遣事業」を「エンジニアリングソリューション事業」、「紹介事業」を「エンジニア紹介事業」に名称を変更しております。

54

業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	12,069	13,831	16,446	18,266	19,555	27.9%	+1,288	+7.1%
航空機・ロケット関連	4,402	4,825	5,265	5,629	5,565	7.9%	△ 63	△1.1%
産業用機器、機械器具および装置関連	8,205	8,477	9,631	10,215	10,331	14.7%	+116	+1.1%
精密機器関連	4,041	4,599	4,762	4,982	5,245	7.5%	+262	+5.3%
情報通信機器関連	5,114	5,248	5,204	4,872	4,254	6.1%	△ 617	△12.7%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,532	7,990	8,032	8,270	8,193	11.7%	△ 76	△0.9%
半導体・集積回路関連	3,424	3,622	4,104	4,280	4,024	5.7%	△ 256	△6.0%
半導体製造装置関連	1,844	1,837	1,792	1,919	2,043	2.9%	+124	+6.5%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	3,886	3,887	4,365	4,886	5,008	7.1%	+121	+2.5%
プラント関連	1,563	1,611	1,903	2,346	2,518	3.6%	+171	+7.3%
建築関連	325	371	368	374	373	0.5%	+0	△0.1%
その他	2,412	2,572	2,798	2,834	2,967	4.2%	+133	+4.7%
合計	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083	100.0%	+1,204	+1.7%

55

業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

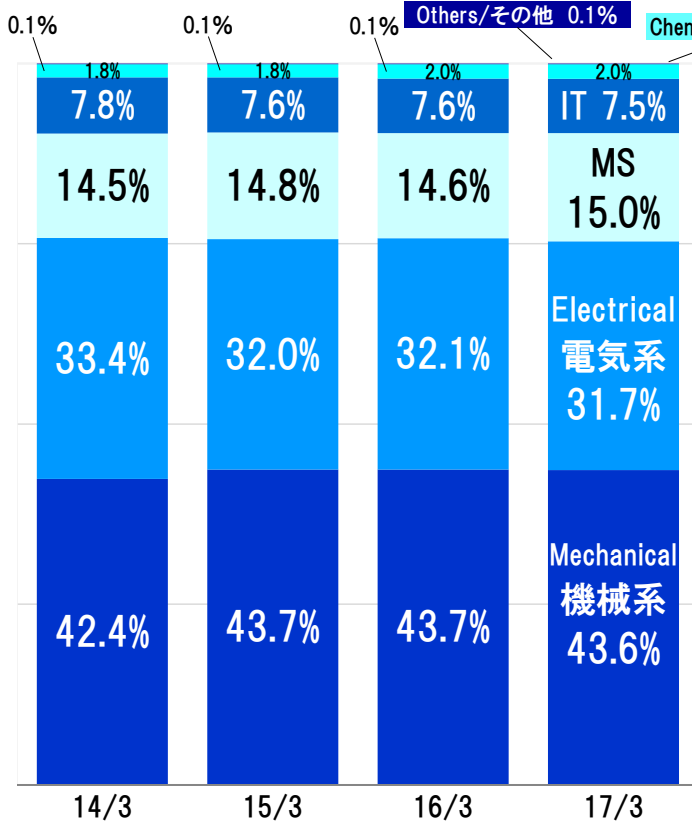
(百万円)

メイテックフィルダース	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	2,662	3,349	4,241	4,981	5,455	36.7%	+473	+9.5%
航空機・ロケット関連	152	200	207	251	366	2.5%	+114	+45.7%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,254	1,509	1,770	1,929	2,157	14.5%	+227	+11.8%
精密機器関連	1,300	1,609	1,625	1,666	1,760	11.8%	+94	+5.7%
情報通信機器関連	326	378	397	452	565	3.8%	+112	+24.9%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,682	1,508	1,568	1,656	1,827	12.3%	+171	+10.4%
半導体・集積回路関連	532	437	457	505	511	3.4%	+6	+1.2%
半導体製造装置関連	414	455	403	536	672	4.5%	+135	+25.4%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	166	261	342	341	336	2.3%	△ 5	△1.5%
プラント関連	225	287	389	473	561	3.8%	+87	+18.5%
建築関連	97	98	26	16	22	0.2%	+6	+36.8%
その他	534	491	481	515	628	4.2%	+112	+21.8%
合計	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865	100.0%	+1,537	+11.5%

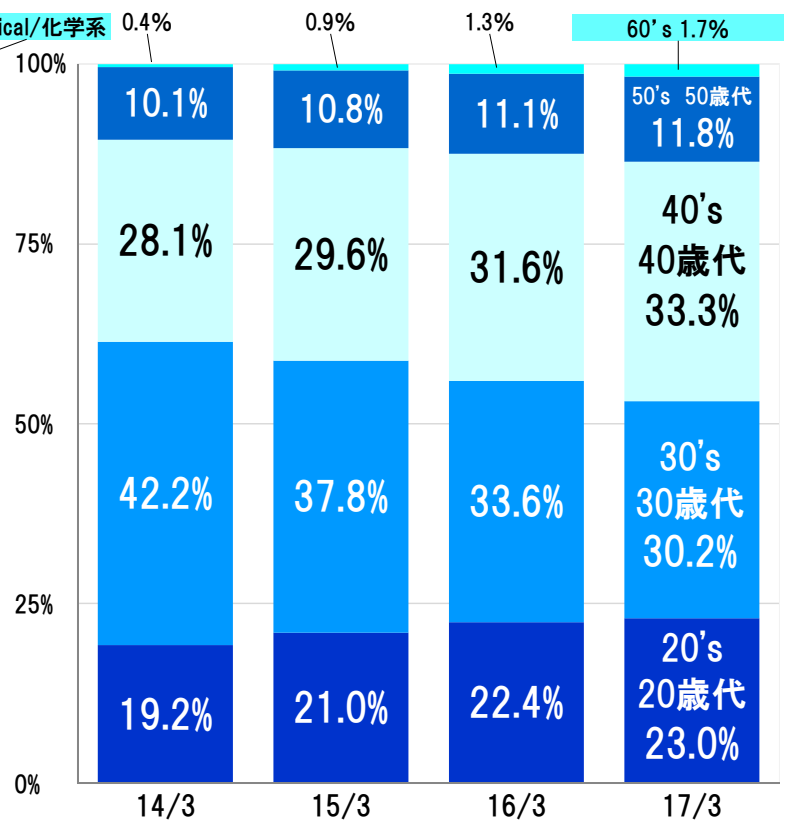
56

メイテックエンジニアの構成

技術分野/Technical field



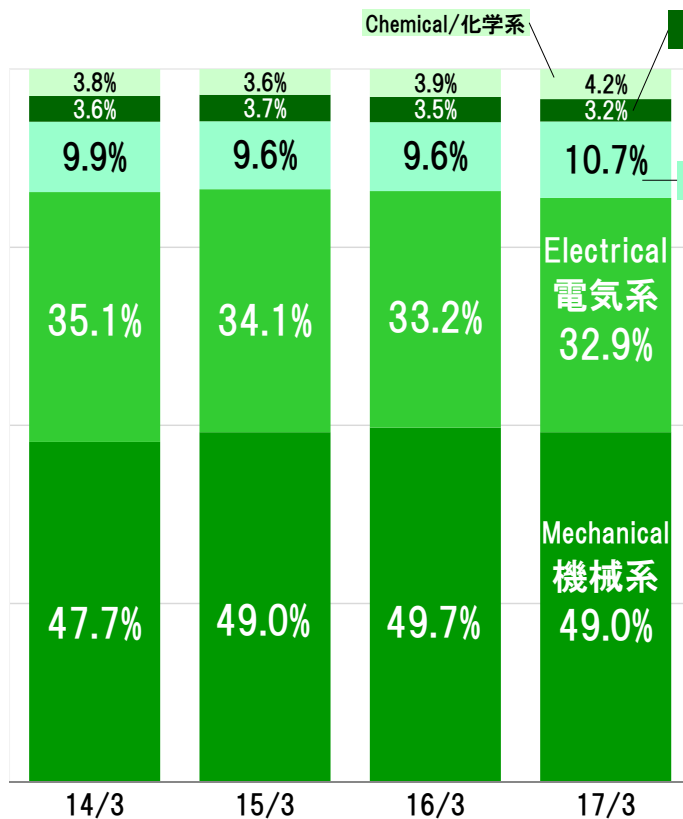
年齢/According to age



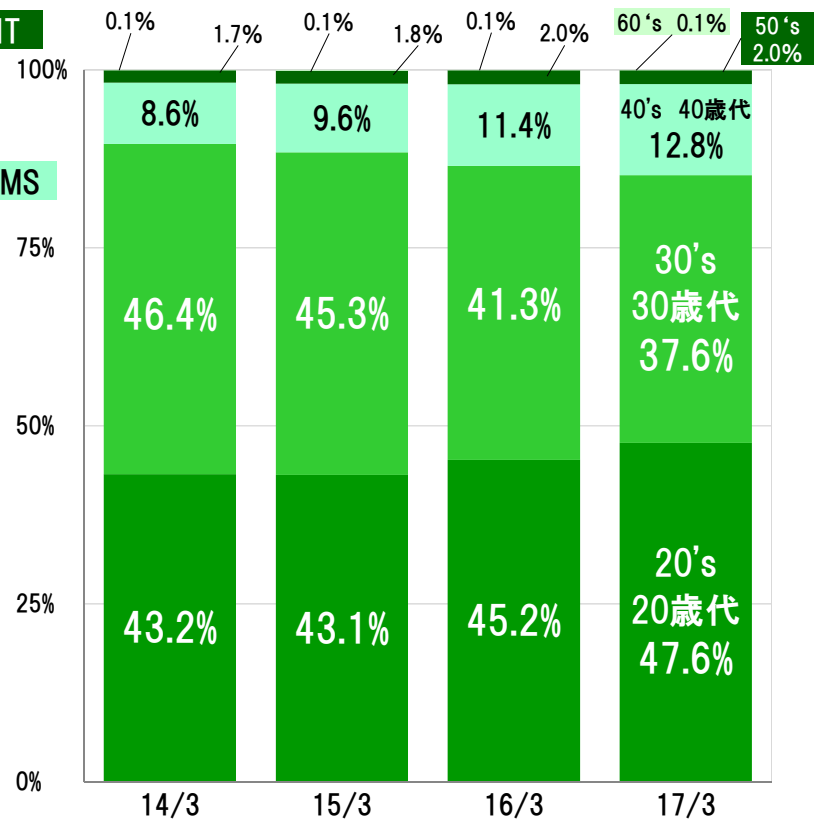
MS: Micro Computer System

メイテックフィルダースエンジニアの構成

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

【連結】業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
売上高	71,255	79,120	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888	89,979
売上原価	49,648	54,460	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661	66,417
原価率	69.7%	68.8%	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.6%	73.8%
売上総利益	21,606	24,660	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227	23,561
販売費及び一般管理費	9,339	12,371	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352	12,418
販管費率	13.1%	15.6%	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%	13.8%
営業利益	12,267	12,289	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874	11,142
営業利益率	17.2%	15.5%	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%	12.4%
営業外収益	106	87	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29	20
営業外費用	90	185	59	169	115	107	77	178	32	24	51	10	58	17
経常利益	12,283	12,190	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845	11,145
経常利益率	17.2%	15.4%	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%	12.4%
特別利益	149	393	538	5	6	13	32	378	—	58	—	20	1,084	31
特別損失	477	2,682	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65	45
税金等調整前当期純利益	11,955	9,900	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865	11,131
税金費用等	5,246	5,192	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781	3,193
親会社株主に帰属する当期純利益	6,709	4,707	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083	7,937
純利益率	9.4%	6.0%	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%	8.8%

59

<メイテック>業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
売上高	59,518	61,109	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083
売上原価	40,927	42,087	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884	52,013
原価率	68.8%	68.9%	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%	74.2%
売上総利益	18,591	19,021	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994	18,069
販売費及び一般管理費	7,833	7,802	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932	8,856
販管費率	13.2%	12.8%	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%	12.6%
営業利益	10,757	11,219	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061	9,213
営業利益率	18.1%	18.4%	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%	13.1%
営業外収益	324	530	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517	601
営業外費用	90	35	33	109	48	76	53	150	14	19	426	10	52	16
経常利益	10,991	11,714	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526	9,798
経常利益率	18.5%	19.2%	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%	14.0%
特別利益	61	525	102	5	3	7	2	3	—	462	—	324	1,088	200
特別損失	412	800	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50	222
税引前当期純利益	10,641	11,439	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563	9,776
税金費用等	4,597	4,586	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171	2,702
当期純利益	6,044	6,853	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391	7,073
純利益率	10.2%	11.2%	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%	10.1%

60

<メイテックフィルダース>業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
売上高	8,692	9,729	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865
売上原価	6,428	7,234	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288	11,540
原価率	74.0%	74.4%	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%	77.6%
売上総利益	2,264	2,495	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039	3,325
販売費及び一般管理費	989	1,174	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834	1,978
販管費率	11.4%	12.1%	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%	13.3%
営業利益	1,275	1,321	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204	1,346
営業利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%	9.1%
営業外収益	5	6	3	3	10	6	848	182	3	3	1	—	—	1
営業外費用	—	—	—	1	1	—	5	1	—	—	15	—	—	1
経常利益	1,280	1,328	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205	1,346
経常利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%	9.1%
特別利益	88	5	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
特別損失	64	—	3	4	5	13	2	1	—	—	—	5	7	—
税引前当期純利益	1,304	1,333	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198	1,346
税金費用等	562	544	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420	412	301
当期純利益	742	789	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648	786	1,045
純利益率	8.5%	8.1%	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%	7.0%

61

<メイテックネクスト>業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
売上高				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483
売上原価														
原価率														
売上総利益				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483
販売費及び一般管理費				207	470	559	349	333	446	512	577	746	887	966
販管費率				2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%	65.1%
営業利益				▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433	517
営業利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%
営業外収益				—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—
営業外費用				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益				▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433	517
経常利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%
特別利益				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益				▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433	517
税金費用等				—	—	1	—	—	—	19	95	141	145	182
当期純利益				▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288	334
純利益率				▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%	22.6%

62

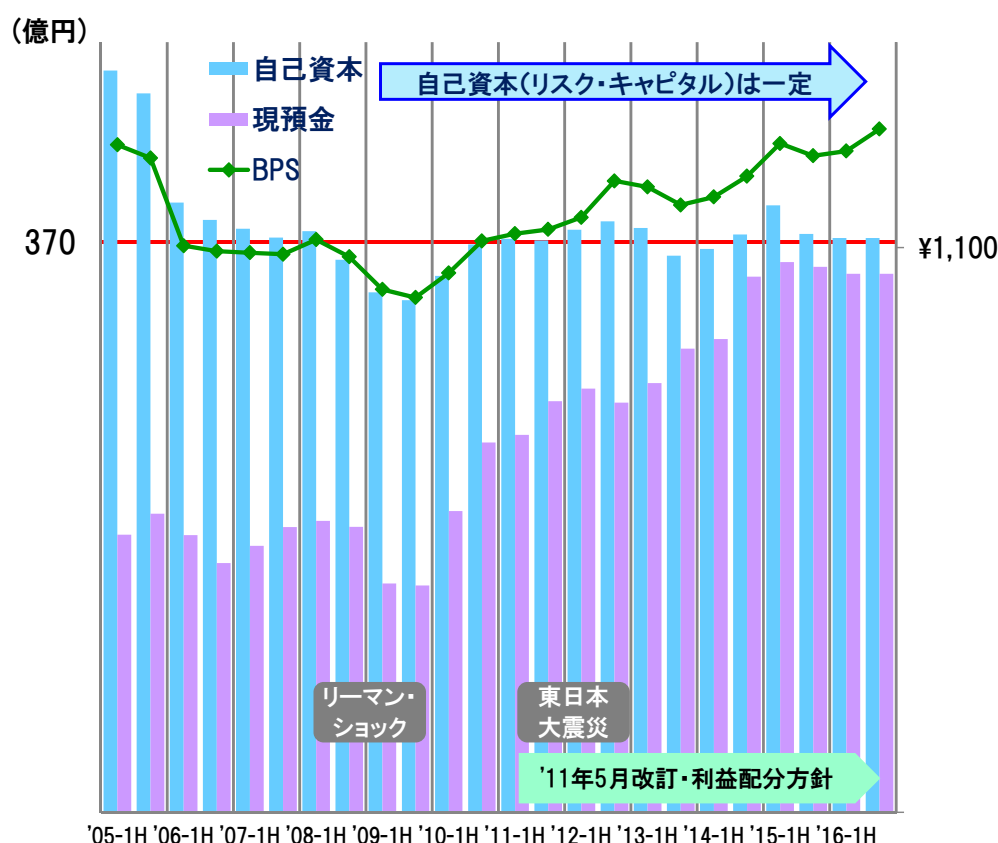
(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,970
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854

営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011
現預金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845

63

自己資本・現預金

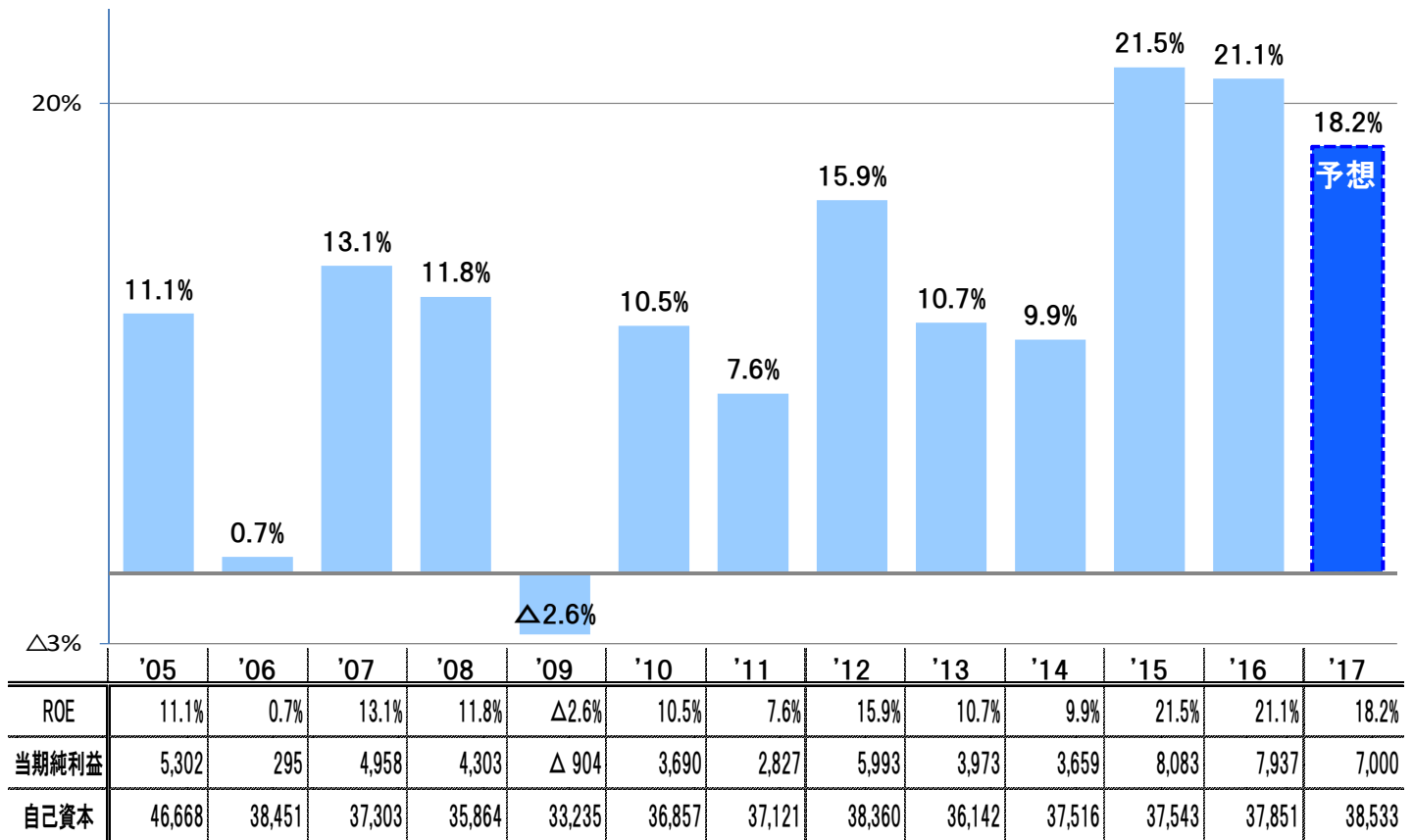
✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

64

連結自己資本当期純利益率:ROE



65

利益配分実績と予想

(百万円未満・四捨五入)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	実績 2016年度	予想 2017年度
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	60.1%
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	
年間配当													
1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥151.50	@¥148.00
金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	4,210
中間配当													
1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00	@¥65.50
金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	1,908	1,968	1,863
期末配当													
1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥83.50	@¥82.50
金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,347
自己株式取得													
株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641	269	921	915	
金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,400
総利益配分額 (百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	5,610
株式消却													
株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	900	1,300	
株価													
期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505
期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥246.07
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	

66

I. 会社の機関

1. 組織形態 **監査役設置会社**

2. 会社独自の取り組み

① **コーポレートガバナンス委員会**
委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② **役員人事諮問委員会**
委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役(2017年3月31日現在)

取締役 9名(うち社外2名、独立2名)

監査役 3名(うち社外3名、独立3名)

※独立役員の資格を満たす社外役員すべてを独立役員として指定

III. 役員報酬

固定報酬

	2016年4月1日～	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
(COO)		
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

業績連動報酬など

	2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%	
	上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

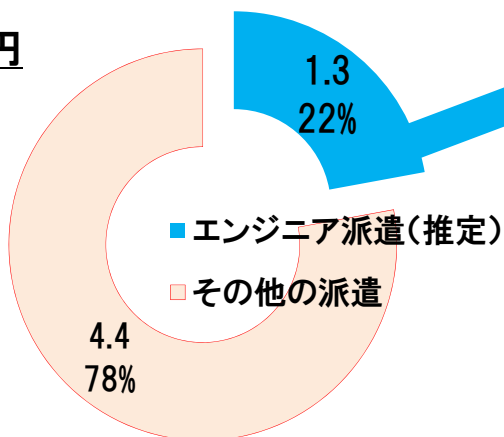
67

エンジニア派遣市場(推定)

✓ 2015年度派遣料金は、法改正前の2015年4月1日から2015年9月29日までを集計した平均値

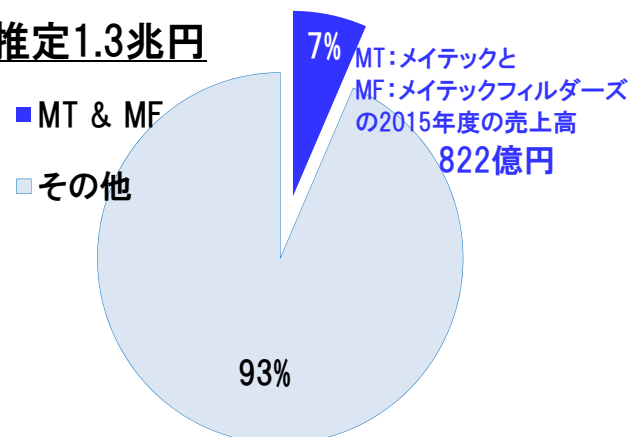
2015年度の労働者派遣事業・売上高

5.7兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

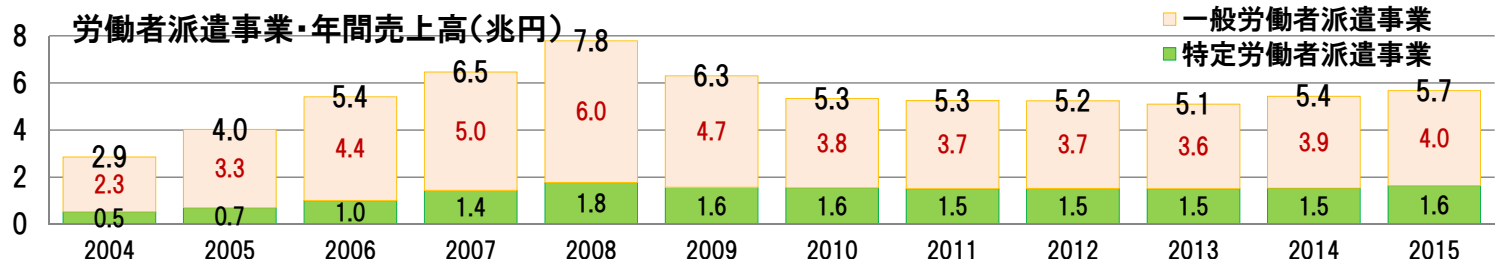


メイテック
@¥5,045
(2015年3月)

エンジニア派遣
@¥3,380
(推定)

特定派遣
@¥2,978

一般派遣
@¥2,081



出所: 厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注: 当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

68

株主セグメント	2017年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	6	0.1%	773,301	2.6%
信託銀行	20	0.4%	7,474,500	24.9%
生保・損保会社	26	0.5%	4,400,283	14.7%
証券金融・その他金融会社	5	0.1%	21,460	0.1%
証券会社	35	0.6%	415,035	1.4%
事業会社・その他法人	87	1.6%	192,411	0.6%
外国法人・外国人	214	4.0%	12,136,653	40.5%
個人その他	5,021	92.7%	4,586,357	15.3%
合計	5,414	100.0%	30,000,000	100.0%

69

会社概要 メイテック

本 社	東京都港区赤坂
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックネクスト

70